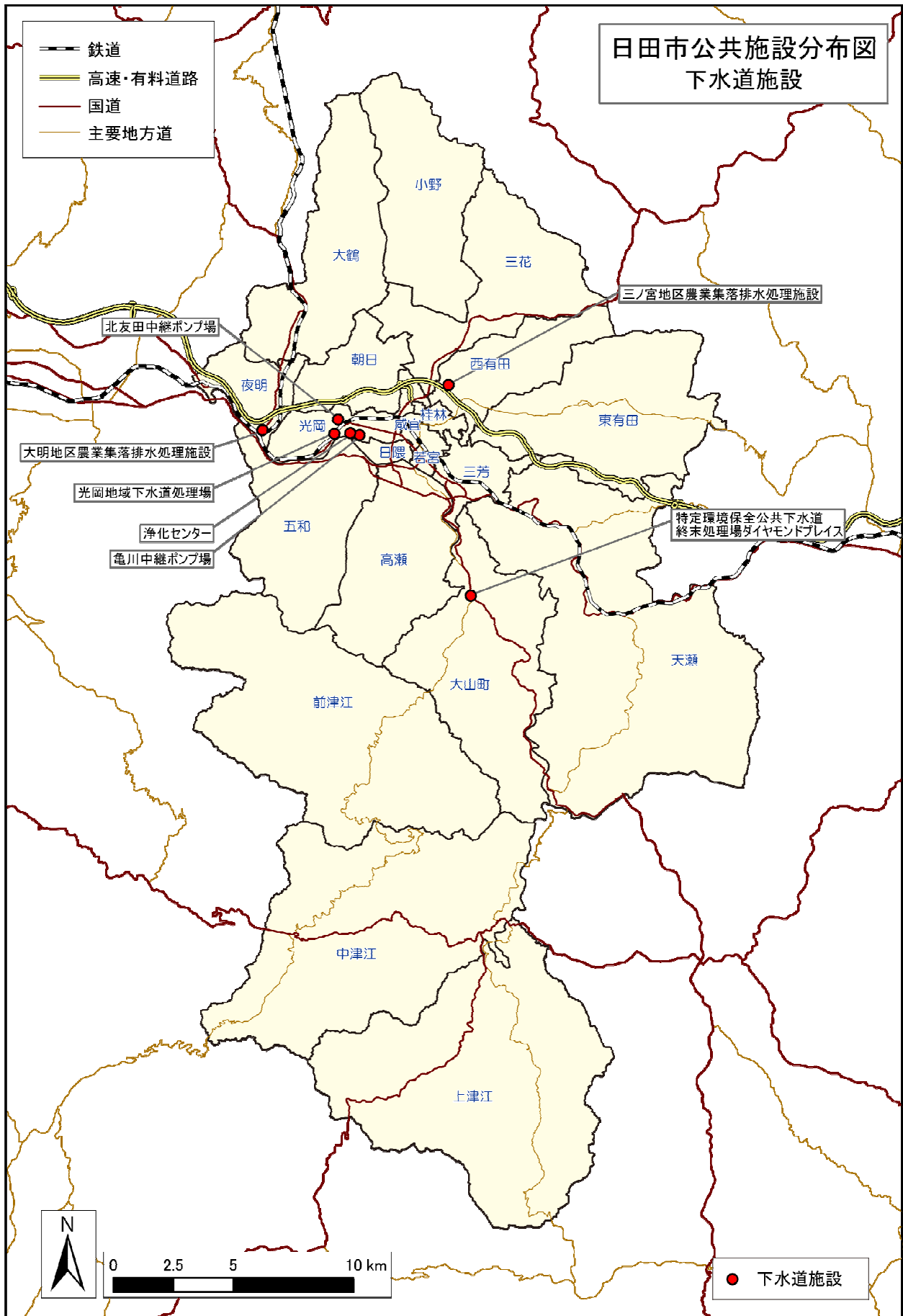


14. 下水道施設

(1) 下水道施設



①施設概要

下水道施設は7施設が立地しており、光岡地区に4施設、西有田地区、夜明地区、大山地区にそれぞれ1施設となっています。

延床面積の合計は10,995.6㎡で、全施設延床面積(453,880.4㎡)の2.4%となっています。

■施設一覧

(平成26年3月末現在)

地区	利用 圏域	施設名	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建物形態	
						単独	複合・共有する施設
光岡	全市	亀川中継ポンプ場	日田市南友田町385-5	665.0	329.7	単独	—
	地区	光岡地域下水道処理場	日田市北友田3丁目2567-1	149.0	114.0	単独	—
	全市	浄化センター	日田市南友田町717-1	51,880.0	9,089.3	単独	—
	全市	北友田中継ポンプ場	日田市北友田2丁目2117-11	610.0	388.6	単独	—
西有田	地区	三ノ宮地区農業集落排水処理施設	日田市坂井町1272-1	941.8	446.1	単独	—
夜明	地区	大明地区農業集落排水処理施設	日田市夜明中町1856-1	3,699.5	428.1	単独	—
大山	地区	特定環境保全公共下水道終末処理場	日田市大山町西大山878	2,468.6	199.9	単独	—
		ダイヤモンドプレイス					
下水道処理施設 合計(7ヶ所)				60,413.9	10,995.6	—	—

②建物状況

1) 建設年度

築30年を経過した棟が全15棟のうち6棟と40.0%を占めており、10年後にはさらに3棟が築30年を迎え、築30年以上の棟が全体の60.0%となります。

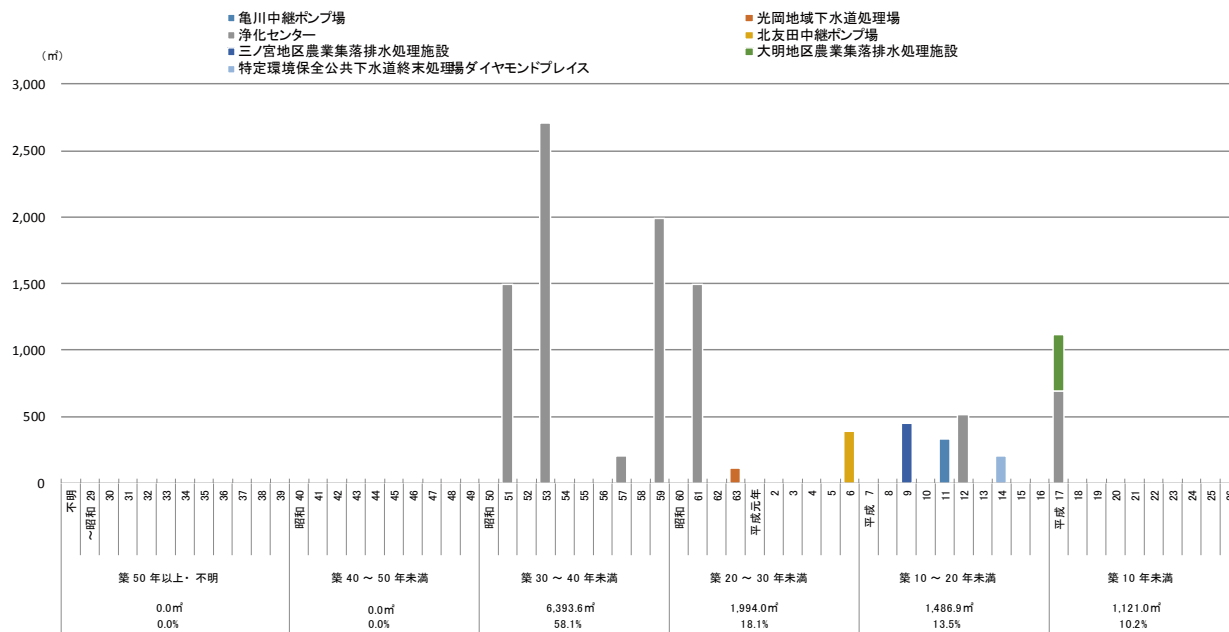
築30～40年の施設の延床面積の合計が6,393.6㎡と、全体の58.1%を占めています。

■建物一覧

地区	施設名	棟の名称	構造	築年	築年数 (年)	延床面積 (㎡)
光岡	亀川中継ポンプ場	亀川中継ポンプ場	鉄筋コンクリート	H11	15	329.7
		管理棟	鉄筋コンクリート	S63	26	114.0
	光岡地域下水道処理場	沈砂・ポンプ棟	鉄筋コンクリート	S51	38	1,491.8
		管理棟	鉄筋コンクリート	S53	36	2,264.9
		消毒棟	鉄筋コンクリート	S53	36	445.5
		倉庫	鉄骨	S57	32	199.5
		天日乾燥床	鉄骨	S59	30	1,886.9
		汚泥貯留庫	鉄骨	S59	30	105.0
		汚泥処理棟	鉄筋コンクリート	S61	28	1,491.5
		機械濃縮棟	鉄筋コンクリート	H12	14	511.3
	新汚泥処理棟	鉄筋コンクリート	H17	9	692.9	
北友田中継ポンプ場	北友田中継ポンプ場	鉄筋コンクリート	H6	20	388.6	
西有田	三ノ宮地区農業集落排水処理施設	三ノ宮地区処理施設	鉄筋コンクリート	H9	17	446.1
夜明	大明地区農業集落排水処理施設	大明地区クリーンセンター	鉄筋コンクリート	H17	9	428.1
大山	特定環境保全公共下水道終末処理場ダイヤモンドプレイス	管理汚泥棟	鉄筋コンクリート	H14	12	199.9

※着色部は、築30年以上の施設

■ 築年別延床面積



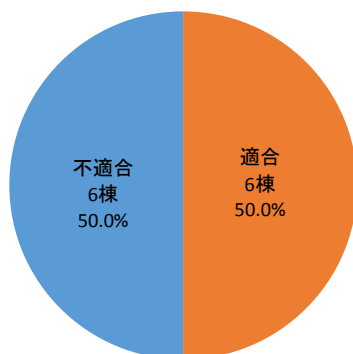
2) 耐震化の状況

耐震化の状況は、附属建築物等を除く 12 棟のうち 6 棟の 50.0%が新耐震基準等に適合し、6 棟が不適合となっています。浄化センターについては、長寿命化計画に基づいて、平成 28 年度に耐震改修を実施する予定です。

■ 耐震化状況一覧

地区	施設名	棟の名称	構造	築年	築年数 (年)	耐震化実施状況		
						耐震診断	耐震改修	適合/不適合
光岡	亀川中継ポンプ場	亀川中継ポンプ場	鉄筋コンクリート	H11	15	△	×	×
	光岡地域下水道処理場	管理棟	鉄筋コンクリート	S63	26	○	—	○
	浄化センター	沈砂・ポンプ棟	鉄筋コンクリート	S51	38	△	×	×
		管理棟	鉄筋コンクリート	S53	36	△	×	×
		消毒棟	鉄筋コンクリート	S53	36	△	×	×
		倉庫	鉄骨	S57	32	—	—	—
		天日乾燥床	鉄骨	S59	30	—	—	—
		汚泥貯留庫	鉄骨	S59	30	—	—	—
		汚泥処理棟	鉄筋コンクリート	S61	28	△	×	×
		機械濃縮棟	鉄筋コンクリート	H12	14	○	—	○
新汚泥処理棟	鉄筋コンクリート	H17	9	○	—	○		
北友田中継ポンプ場	北友田中継ポンプ場	鉄筋コンクリート	H6	20	△	×	×	
西有田	三ノ宮地区農業集落排水処理施設	三ノ宮地区処理施設	鉄筋コンクリート	H9	17	○	—	○
夜明	大明地区農業集落排水処理施設	大明地区クリーンセンター	鉄筋コンクリート	H17	9	○	—	○
大山	特定環境保全公共下水道終末処理場ダイヤモンドプレイス	管理汚泥棟	鉄筋コンクリート	H14	12	○	—	○

耐震診断	○	適合済
	△	実施済
	×	未実施
耐震改修	○	適合済
	()	実施年
	×	不適合、未実施
対象外	—	—



※昭和 56 年 6 月 1 日以降に建設された施設は、新耐震基準のため、適合済として掲載。

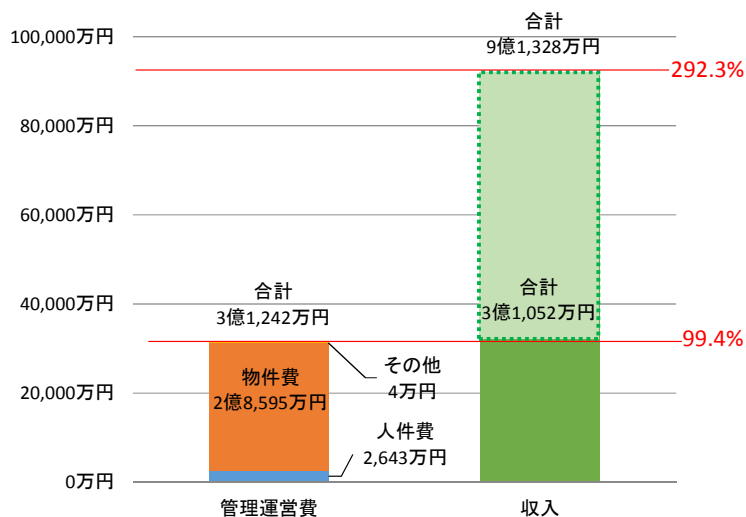
※亀川中継ポンプ場及び浄化センターならびに北友田中継ポンプ場については、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説」平成 8 年度版(建築保全センター)の基準により判定。

③コスト状況

1) 収支の状況

管理運営費の合計は、約3億1,242万円となっており、人件費が約2,643万円(8.5%)、物件費が約2億8,595万円(91.5%)となっています。一方、収入の合計は、約9億1,328万円となっていますが、この差額は、市債(下水道建設費の借入金)の償還や他の一般管理費に充てられています。

■供給処理施設コスト(平成25年度)



2) 施設別の収支の状況

管理運営費の平均は約 4,463 万円となっています。施設別では浄化センターが最も高く、亀川中継ポンプ場が最も低くなっています。

■施設別の収支一覧

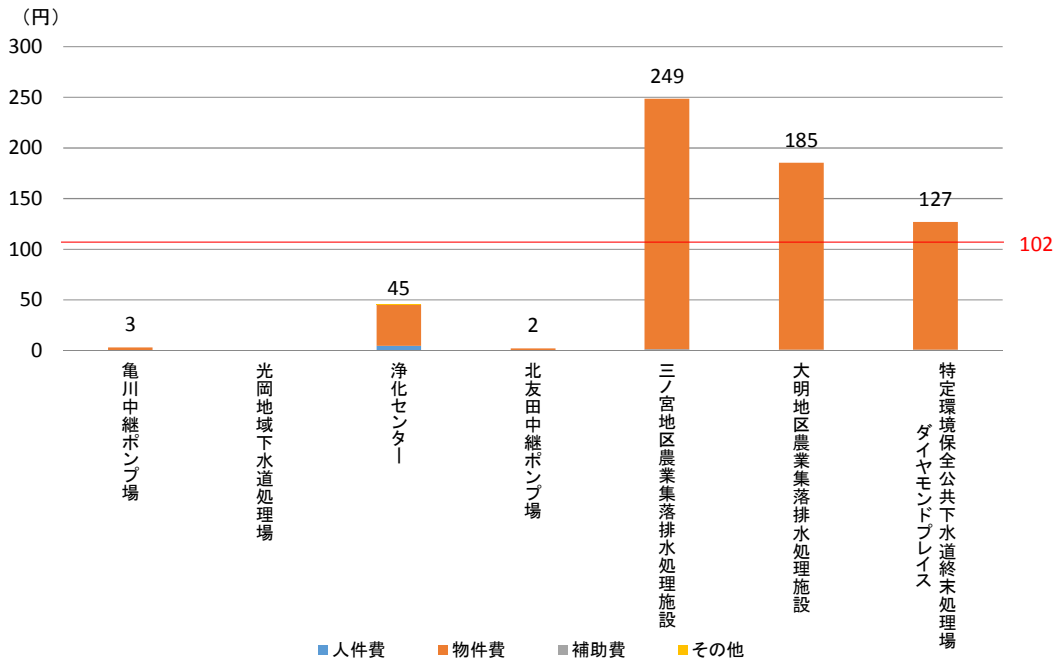
(平成 25 年度)

地区	施設名	管理運営費(円)				支出合計	利用料金	その他	収入合計 (円)	収入/支出 (%)
		人件費(職員)	物件費	補助費	その他					
光岡	亀川中継ポンプ場	81,700	1,521,740	0	0	1,603,440	0	0	0	0.0%
	光岡地域下水道処理場	81,700	2,393,867	0	0	2,475,567	413,202	0	413,202	16.7%
	浄化センター	25,941,500	229,778,513	0	38,100	255,758,113	296,213,032	0	296,213,032	115.8%
	北友田中継ポンプ場	81,700	1,993,081	0	0	2,074,781	0	0	0	0.0%
西有田	三ノ宮地区農業集落排水処理施設	81,700	15,670,769	0	0	15,752,469	3,301,227	0	3,301,227	21.0%
	夜明地区農業集落排水施設	81,700	22,465,780	0	0	22,547,480	6,270,508	0	6,270,508	27.8%
大山	特定環境保全公共下水道終末処理場	81,700	12,130,539	0	0	12,212,239	4,318,734	0	4,318,734	35.4%
	ダイヤモンドプレイス	81,700	12,130,539	0	0	12,212,239	4,318,734	0	4,318,734	35.4%
合計		26,431,700	285,954,289	0	38,100	312,424,089	310,516,703	0	310,516,703	99.4%
平均		3,775.957	40,850.613	0	5,443	44,632.013	44,359.529	0	44,359.529	99.4%

3) 支出比較

施設別の処理水量あたりの管理運営費の平均は 102 円となっています。施設別では、三ノ宮地区農業集落排水処理施設が最も高く、北友田中継ポンプ場が最も低くなっています。

■処理水量 1 m³あたり管理運営費



④下水道施設の現状のまとめ

建物状況	○築 30 年を経過した棟が全 15 棟のうち 6 棟で、すべて浄化センターの棟となっている。
利用状況	—
コスト状況	○管理運営費は約 3 億 1,242 万円、収入は約 3 億 1,052 万円で、収入は管理運営費の 99.4%となっている。



【課題】

○老朽化した施設の改修や更新の対応を行う必要がある。

第4章 地域別の状況

1. 地区別の状況

(1) 咸宜地区

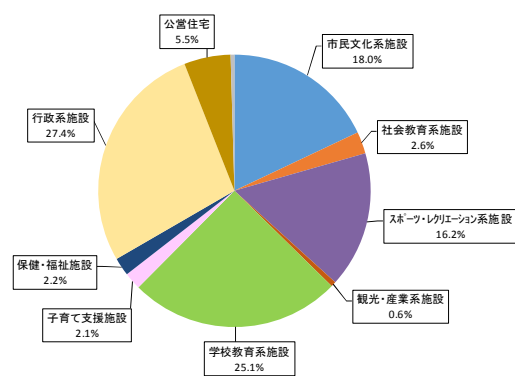
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 9,396 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 13.7% (13.0%) 生産年齢人口 : 60.1% (57.6%) 老年人口 : 26.2% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 58,168.1 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 6.19 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

保有施設の状況

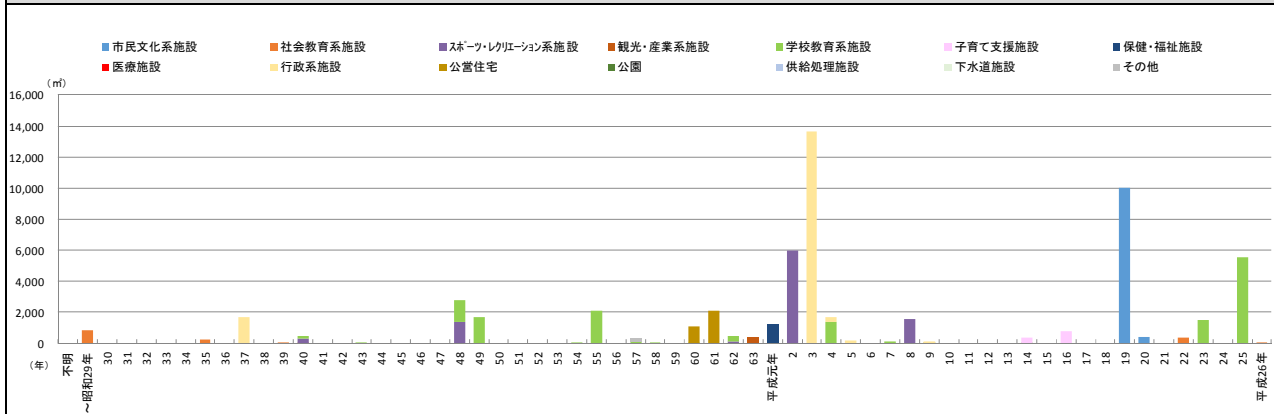
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	10,453.6	1.11	0.52	0.0%	43.1%
社会教育系施設	5	1,509.2	0.16	0.08	72.4%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	6	9,397.9	1.00	0.43	18.2%	23.1%
観光・産業系施設	1	365.5	0.04	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	14,591.0	1.55	2.17	38.6%	36.6%
子育て支援施設	2	1,197.0	0.13	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	1	1,252.4	0.13	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	4	15,938.1	1.70	0.43	10.7%	24.2%
公営住宅	1	3,193.4	0.34	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	1	269.9	0.03	0.15	0.0%	64.4%
総計	25	58,168.1	6.19	6.43	17.9%	31.1%

※ 色付きセルは全市に比較して多い施設

用途別の面積割合 (咸宜地区)



過去整備量



咸宜地区の現状

- 全市の人口の 13.3% を占める。平成 50 年の人口は 8,322 人、高齢化率は 41.1% と、全市平均の 40.7% を若干上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 58,168.1 m² で、全市の 12.8% を占めている。大分類別には、行政系施設、学校教育系施設、市民文化系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 6.19 m² と全市平均とほぼ同じとなっている。
- 築 30 年以上の施設が 17.9% と全市平均を下回っている。

(2) 桂林地区

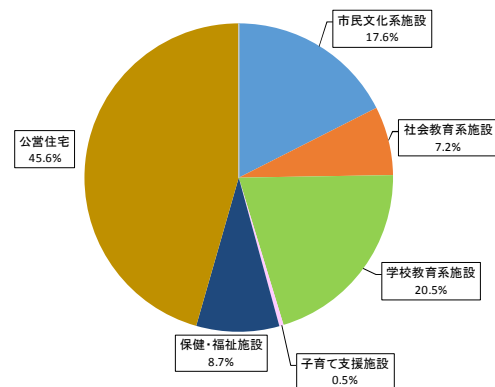
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
【人口】 4,699 人 (70,545 人) 【人口比率】 年少人口 : 16.0% (13.0%) 生産年齢人口 : 59.7% (57.6%) 老年人口 : 24.2% (29.4%) 【延床面積】 21,322.6 m ² (453,880.4 m ²) 【1人あたりの延床面積】 4.54 m ² (6.43 m ²) ※ () は日田市の数値	

保有施設の状況

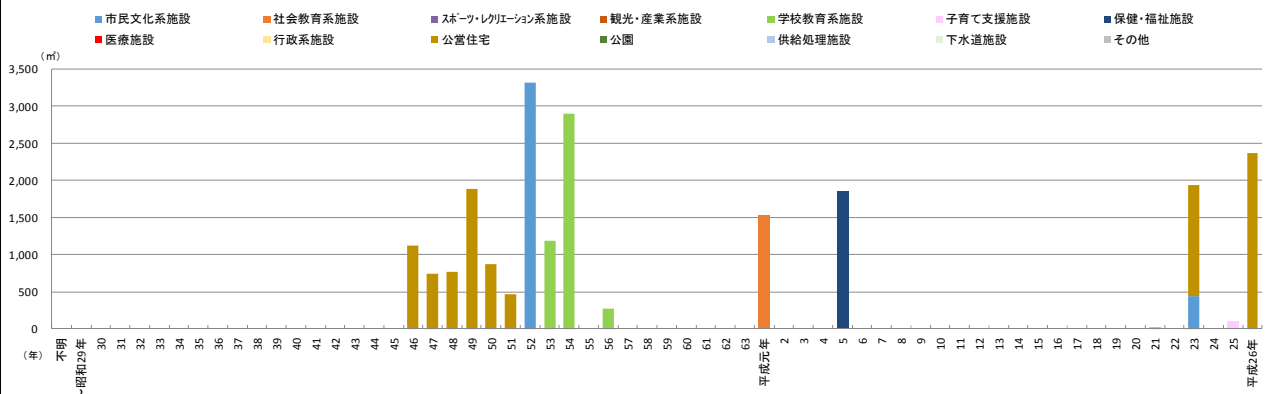
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	3,742.6	0.80	0.52	88.4%	43.1%
社会教育系施設	1	1,534.0	0.33	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	4,381.0	0.93	2.17	99.5%	36.6%
子育て支援施設	1	98.0	0.02	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	1	1,849.0	0.39	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	1	9,717.9	2.07	1.21	60.2%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	7	21,322.6	4.54	6.43	63.4%	31.1%

※ は全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (桂林地区)



過去整備量



桂林地区の現状

- 全市の人口の6.7%を占める。平成50年の人口は3,226人、高齢化率は47.7%と、全市平均の40.7%を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は21,322.6 m²で、全市の4.7%を占めている。大分類別には、公営住宅、学校教育系施設、市民文化系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は4.54 m²と全市平均を下回っている。
- 築30年以上の施設が63.4%と全市平均を大きく上回っている。

(3) 日隈地区

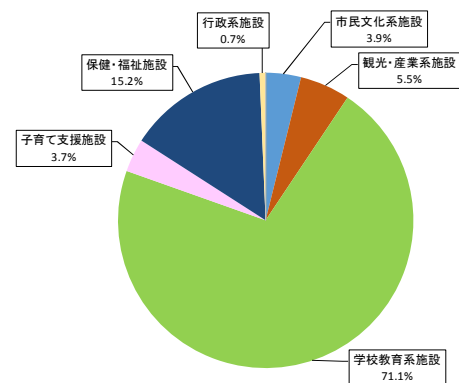
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 4,171 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 14.6% (13.0%) 生産年齢人口 : 56.6% (57.6%) 老年人口 : 28.8% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 18,780.0 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 4.50 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

保有施設の状況

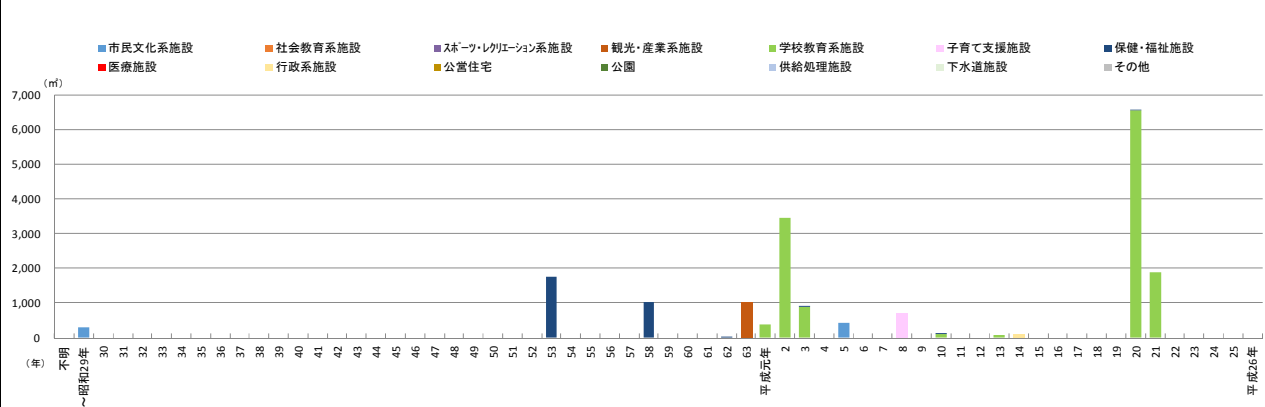
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	725.9	0.17	0.52	41.2%	43.1%
社会教育系施設	0	0.0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0.0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	1	1,030.8	0.25	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	13,347.0	3.20	2.17	0.0%	36.6%
子育て支援施設	1	691.1	0.17	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	2	2,862.3	0.69	0.24	97.2%	26.6%
医療施設	0	0.0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	122.9	0.03	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0.0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0.0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0.0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0.0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0.0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	9	18,780.0	4.50	6.43	16.4%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (日隈地区)



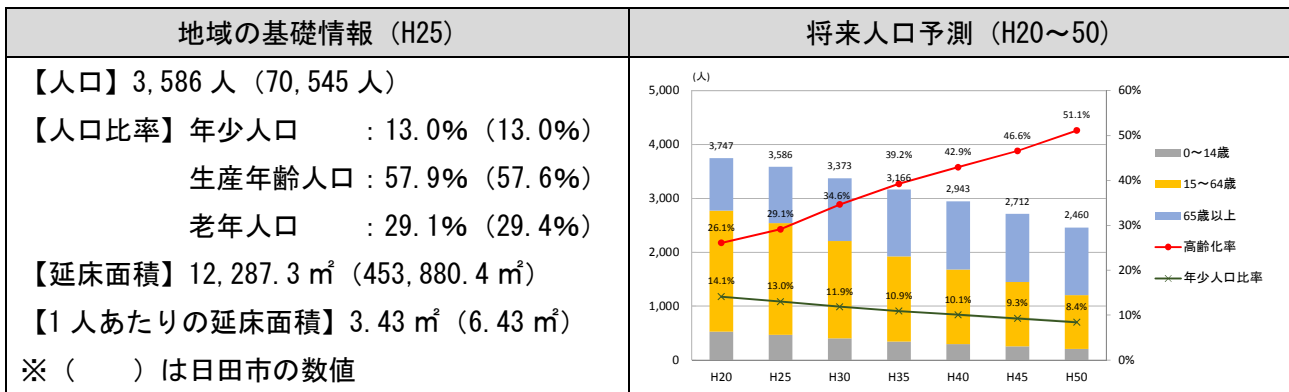
過去整備量



日隈地区の現状

- 全市の人口の5.9%を占める。平成50年の人口は3,940人、高齢化率は35.9%と、全市平均の40.7%を下回ることが予測されており、対象地区の中で光岡、三花地区に続いて低い高齢化率となっている。
- 公共施設延床面積は18,780.0 m²で、全市の4.1%を占めている。大分類別には、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は4.50 m²と全市平均を下回っている。
- 築30年以上の施設が16.4%と全市平均を下回っている。

(4) 若宮地区

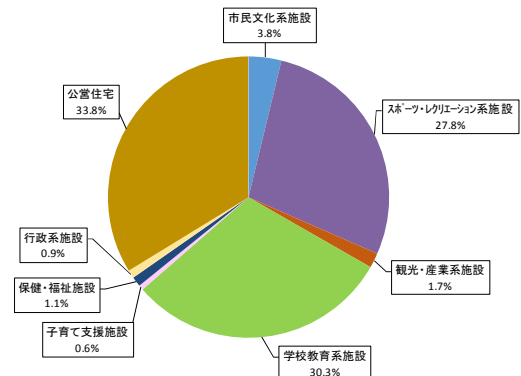


保有施設の状況

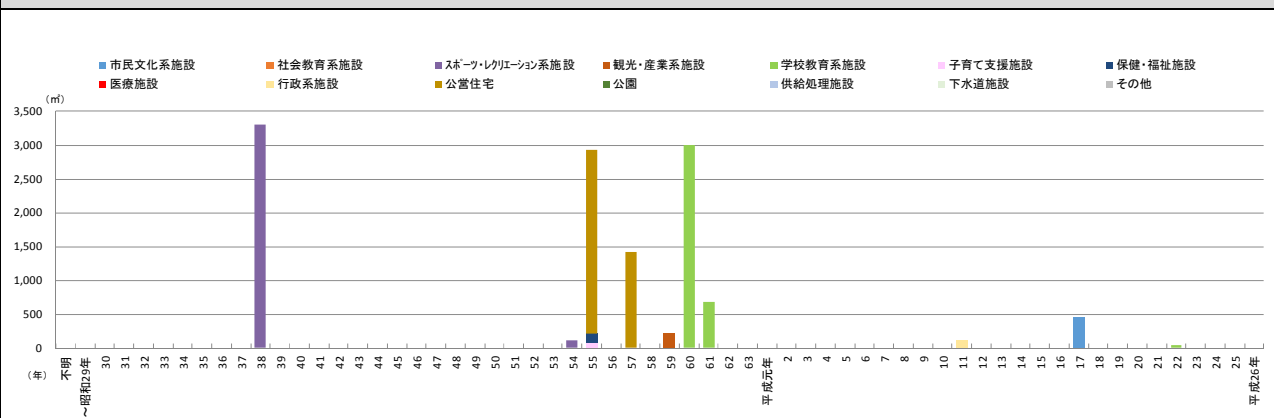
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	462.6	0.13	0.52	0.0%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	3,419.3	0.95	0.43	100.0%	23.1%
観光・産業系施設	1	209.3	0.06	0.50	100.0%	13.1%
学校教育系施設	1	3,726.0	1.04	2.17	0.0%	36.6%
子育て支援施設	1	68.4	0.02	0.09	100.0%	45.3%
保健・福祉施設	1	138.32	0.04	0.24	100.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	115.4	0.03	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	2	4,148.0	1.16	1.21	100.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	9	12,287.3	3.43	6.43	65.0%	31.1%

※ 背景がオレンジ色のセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (若宮地区)



過去整備量



若宮地区の現状

- 全市の人口の 5.1% を占める。平成 50 年の人口は 2,460 人、高齢化率は 51.1% と、全市平均の 40.7% を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 12,287.3 m² で、全市の 2.7% を占めている。大分類別には、公営住宅、学校教育系施設、スポーツ・レクリエーション系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 3.43 m² と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 65.0% と全市平均を大きく上回っている。

(5) 三芳地区

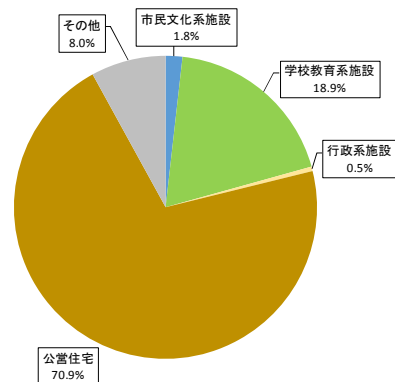
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)																																																
<p>【人口】 6,000 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 15.1% (13.0%) 生産年齢人口 : 56.7% (57.6%) 老年人口 : 28.2% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 22,982.4 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 3.83 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	<p>将来人口予測 (H20~50) のデータ:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>0~14歳</th> <th>15~64歳</th> <th>65歳以上</th> <th>高齢化率</th> <th>年少人口比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H20</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>25.6%</td><td>15.3%</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>28.2%</td><td>15.1%</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>35.1%</td><td>13.2%</td></tr> <tr><td>H35</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>39.2%</td><td>12.0%</td></tr> <tr><td>H40</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>42.2%</td><td>10.4%</td></tr> <tr><td>H45</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>45.3%</td><td>10.0%</td></tr> <tr><td>H50</td><td>1,000</td><td>3,500</td><td>1,500</td><td>48.6%</td><td>9.8%</td></tr> </tbody> </table>	年	0~14歳	15~64歳	65歳以上	高齢化率	年少人口比率	H20	1,000	3,500	1,500	25.6%	15.3%	H25	1,000	3,500	1,500	28.2%	15.1%	H30	1,000	3,500	1,500	35.1%	13.2%	H35	1,000	3,500	1,500	39.2%	12.0%	H40	1,000	3,500	1,500	42.2%	10.4%	H45	1,000	3,500	1,500	45.3%	10.0%	H50	1,000	3,500	1,500	48.6%	9.8%
年	0~14歳	15~64歳	65歳以上	高齢化率	年少人口比率																																												
H20	1,000	3,500	1,500	25.6%	15.3%																																												
H25	1,000	3,500	1,500	28.2%	15.1%																																												
H30	1,000	3,500	1,500	35.1%	13.2%																																												
H35	1,000	3,500	1,500	39.2%	12.0%																																												
H40	1,000	3,500	1,500	42.2%	10.4%																																												
H45	1,000	3,500	1,500	45.3%	10.0%																																												
H50	1,000	3,500	1,500	48.6%	9.8%																																												

保有施設の状況

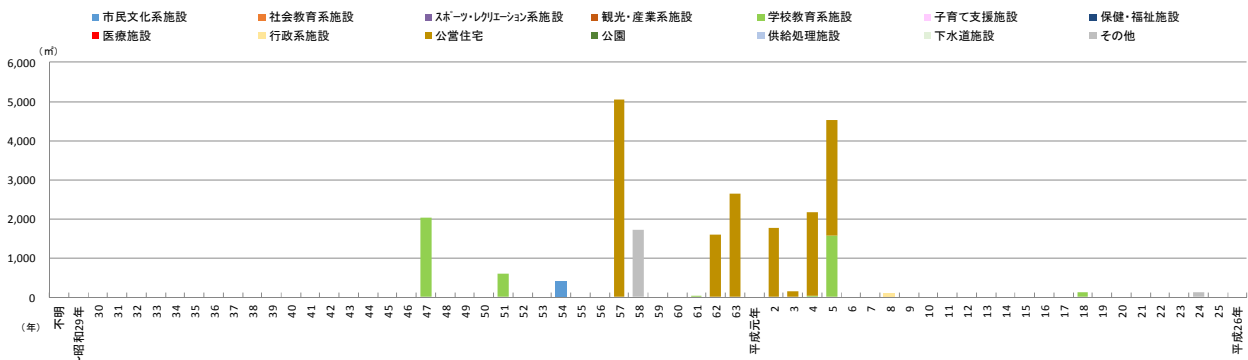
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	410.0	0.07	0.52	100.0%	43.1%
社会教育系施設	0	0.0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0.0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0.0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	4,345.0	0.72	2.17	60.0%	36.6%
子育て支援施設	0	0.0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0.0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	105.3	0.02	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	2	16,288.6	2.71	1.21	30.9%	34.5%
公園	0	0.0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0.0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0.0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	1	1,833.5	0.31	0.15	93.4%	64.4%
総計	6	22,982.4	3.83	6.43	42.5%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (三芳地区)



過去整備量



三芳地区の現状

- 全市の人口の8.5%を占める。平成50年の人口は4,945人、高齢化率は48.6%と、全市平均の40.7%を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は22,982.4 m²で、全市の5.1%を占めている。大分類別には、公営住宅、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は3.83 m²と全市平均を下回っている。
- 築30年以上の施設が42.5%と全市平均を上回っている。

(6) 高瀬地区

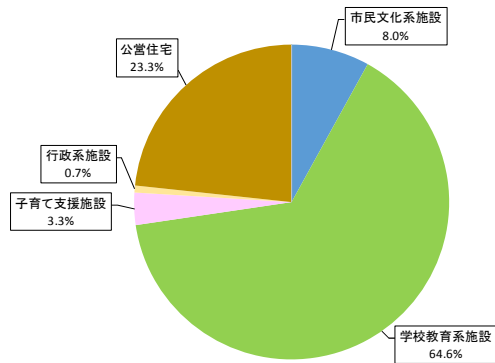
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 4,222 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 12.7% (13.0%) 生産年齢人口 : 57.3% (57.6%) 老年人口 : 30.0% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 14,815.4 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 3.51 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

保有施設の状況

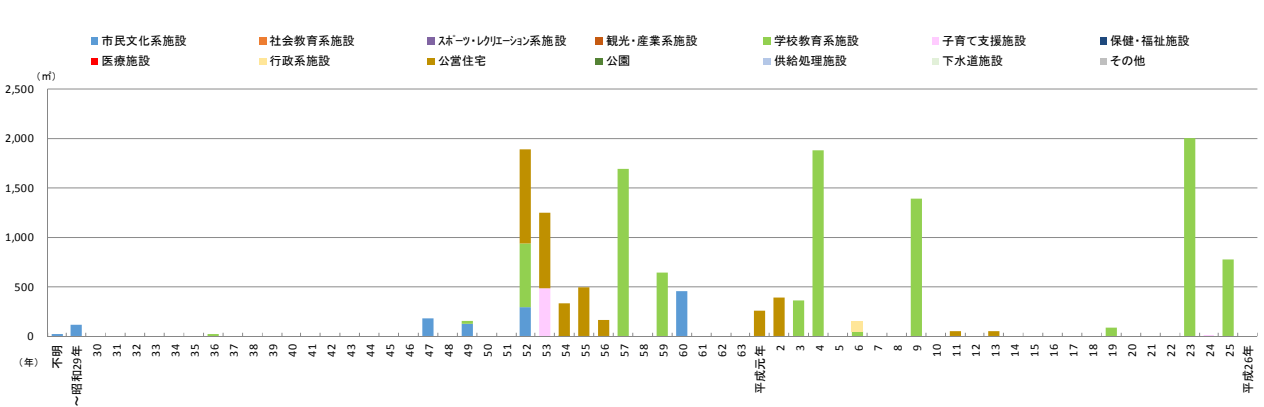
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	5	1,191.7	0.28	0.52	60.3%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	9,572.0	2.27	2.17	31.7%	36.6%
子育て支援施設	1	492.3	0.12	0.09	97.6%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	104.5	0.02	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	2	3,454.9	0.82	1.21	78.1%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	11	14,815.4	3.51	6.43	46.8%	31.1%

※ は全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (高瀬地区)



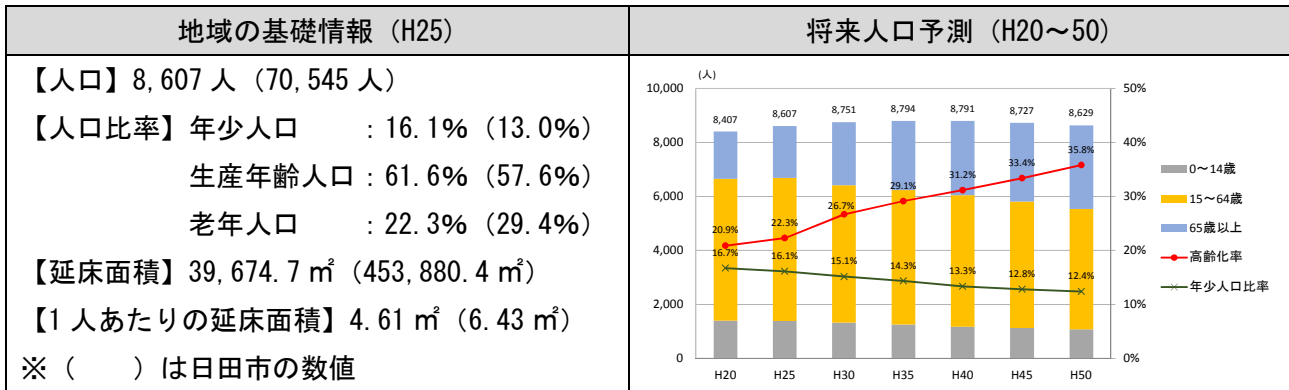
過去整備量



高瀬地区の現状

- 全市の人口の6.0%を占める。平成50年の人口は2,807人、高齢化率は52.7%と、全市平均の40.7%を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は14,815.4 m²で、全市の3.3%を占めている。大分類別には、学校教育系施設、公営住宅が多い。
- 1人あたり延床面積は3.51 m²と全市平均を下回っている。
- 築30年以上の施設が46.8%と全市平均を上回っている。

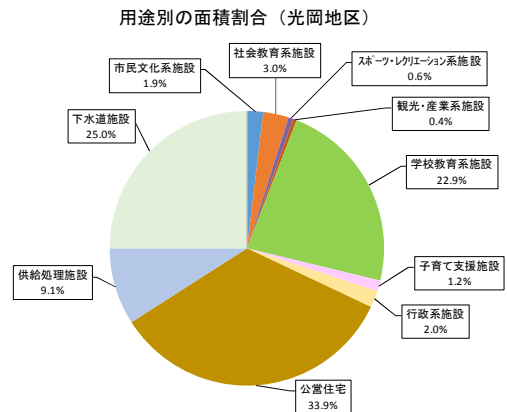
(7) 光岡地区



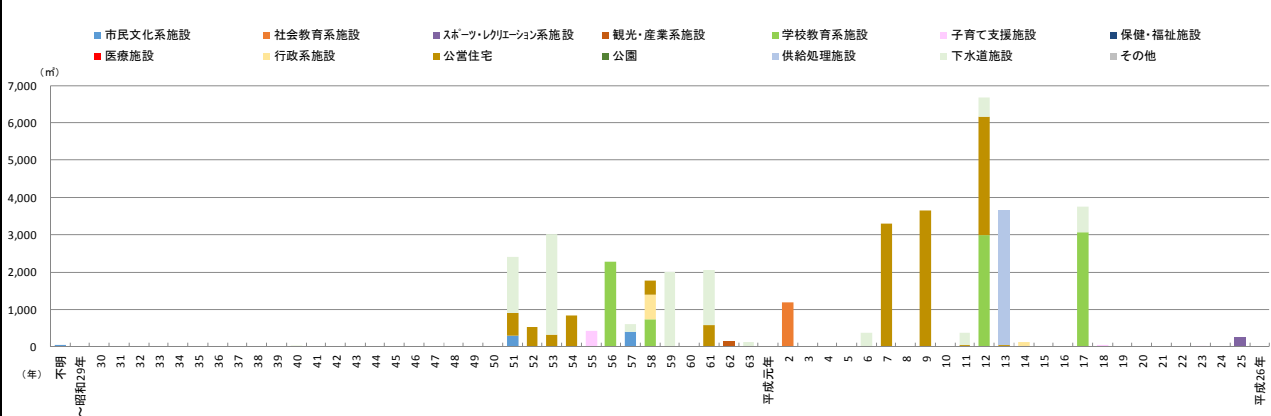
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (㎡)	1人当たり面積(㎡)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	750.6	0.09	0.52	94.4%	43.1%
社会教育系施設	1	1,192.1	0.14	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	240.0	0.03	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	1	150.0	0.02	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	9,096.1	1.06	2.17	33.3%	36.6%
子育て支援施設	2	495.0	0.06	0.09	85.5%	45.3%
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0.0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	3	783.0	0.09	0.43	85.2%	24.2%
公営住宅	2	13,449.2	1.56	1.21	20.1%	34.5%
公園	0	0.0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	1	3,597.3	0.42	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	4	9,921.6	1.15	0.16	64.4%	58.1%
その他	0	0.0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	19	39,674.7	4.61	6.43	35.1%	31.1%

※ 背景がオレンジ色のセルは全市と比較して多い施設



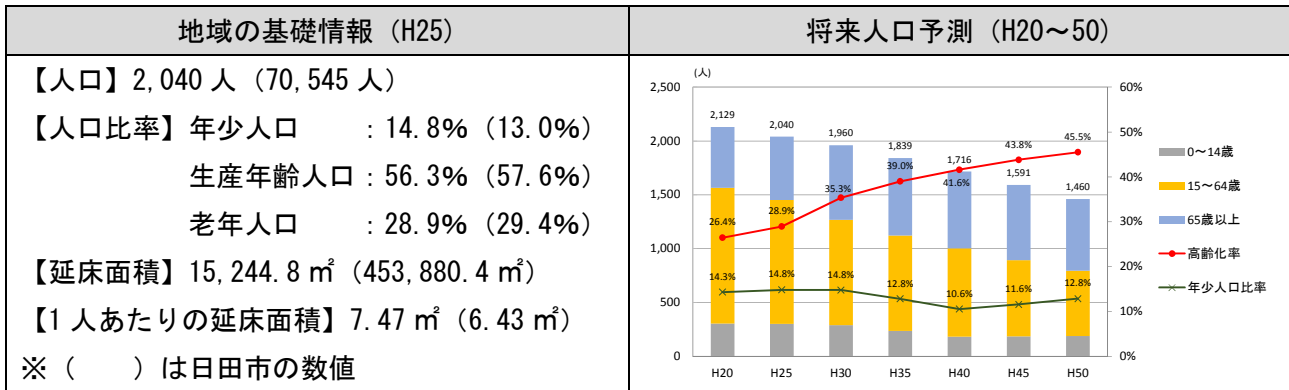
過去整備量



光岡地区の現状

- 全市の人口の 12.2% を占める。平成 50 年の人口は 8,629 人、高齢化率は 35.8% と、全市平均の 40.7% を下回ることが予測されており、対象地区の中で三花地区と並び最も低い高齢化率となっている。
- 公共施設延床面積は 39,674.7㎡ で、全市の 8.7% を占めている。大分類別には、公営住宅、下水道施設、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 4.61㎡ と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 35.1% と全市平均とほぼ同じ値となっている。

(8) 朝日地区

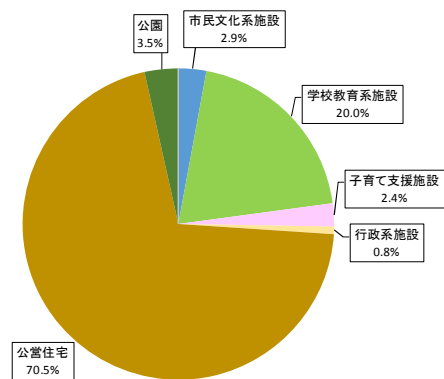


保有施設の状況

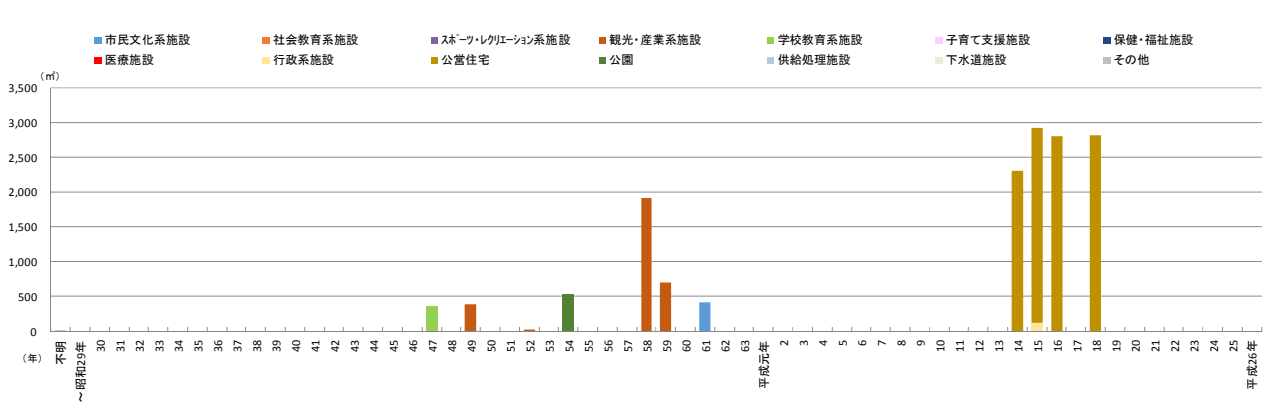
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	442.3	0.22	0.52	0.0%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	3,044.0	1.49	2.17	100.0%	36.6%
子育て支援施設	1	364.1	0.18	0.09	100.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	118.3	0.06	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	1	10,741.3	5.27	1.21	0.0%	34.5%
公園	1	534.8	0.26	0.05	100.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	6	15,244.8	7.47	6.43	25.9%	31.1%

※ 背景がオレンジ色は全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (朝日地区)



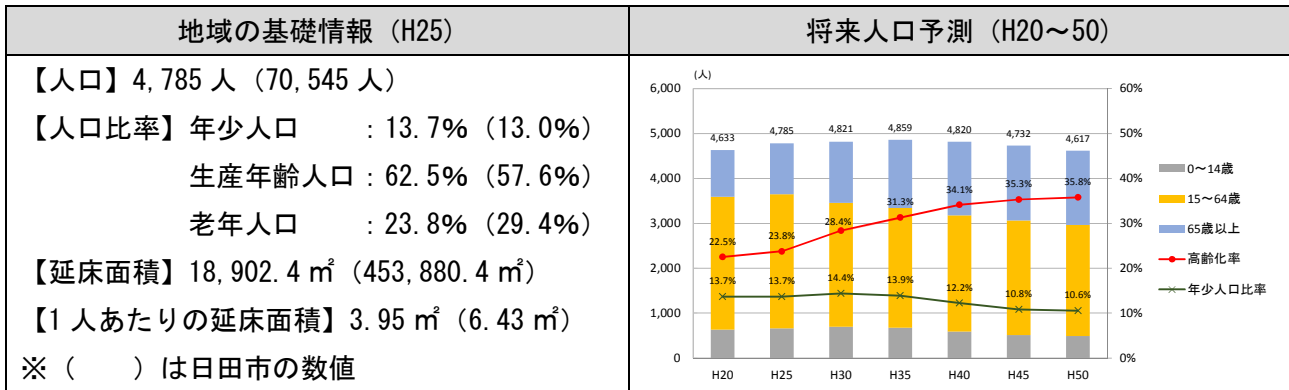
過去整備量



朝日地区の現状

- 全市の人口の2.9%を占める。平成50年の人口は1,460人、高齢化率は45.5%と、全市平均の40.7%を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は15,244.8 m²で、全市の3.3%を占めている。大分類別には、公営住宅、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は7.47 m²と全市平均を上回っている。
- 築30年以上の施設が25.9%と全市平均を下回っている。

(9) 三花地区

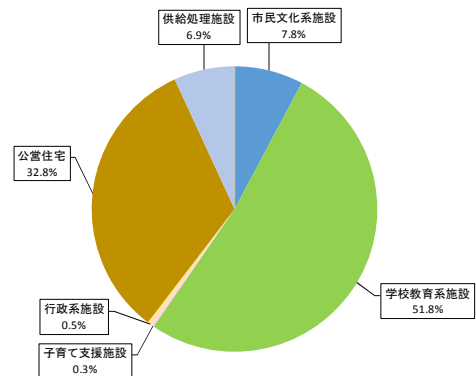


保有施設の状況

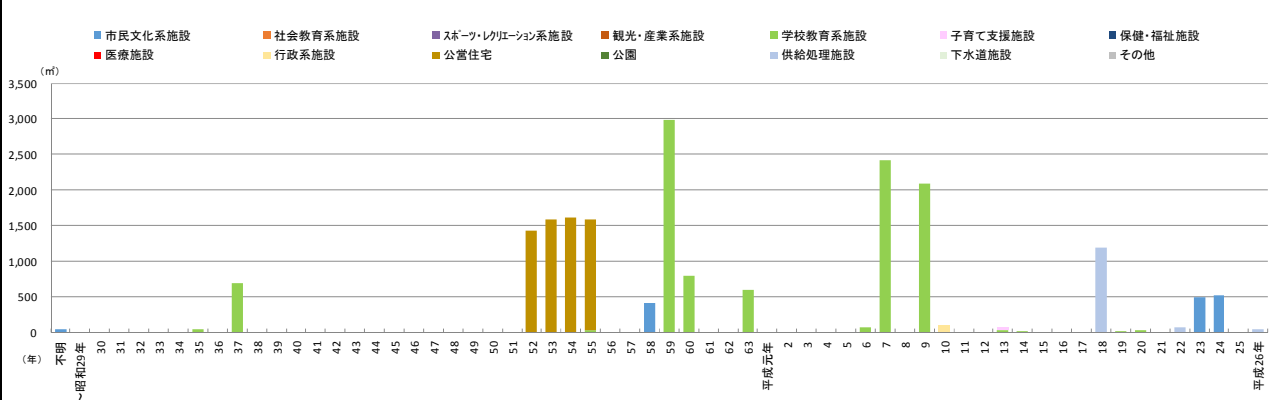
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	1,474.9	0.31	0.52	27.9%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	3	9,784.0	2.04	2.17	38.2%	36.6%
子育て支援施設	1	49.4	0.01	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	101.7	0.02	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	1	6,191.0	1.29	1.21	100.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	1	1,301.4	0.27	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	9	18,902.4	3.95	6.43	54.7%	31.1%

※ 背景がオレンジ色のセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (三花地区)



過去整備量



三花地区の現状

- 全市の人口の6.8%を占める。平成50年の人口は4,617人、高齢化率は35.8%と、全市平均の40.7%を下回ることが予測されており、対象地区の中で光岡地区と並び最も低い高齢化率となっている。
- 公共施設延床面積は18,902.4 m²で、全市の4.2%を占めている。大分類別には、学校教育系施設、公営住宅が多い。
- 1人あたり延床面積は3.95 m²と全市平均を下回っている。
- 築30年以上の施設が54.7%と全市平均を上回っている。

(10) 西有田地区

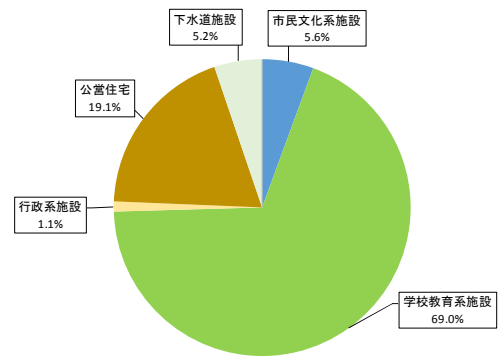
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 3,104 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 13.9% (13.0%) 生産年齢人口 : 57.6% (57.6%) 老年人口 : 28.5% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 8,553.9 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 2.76 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

保有施設の状況

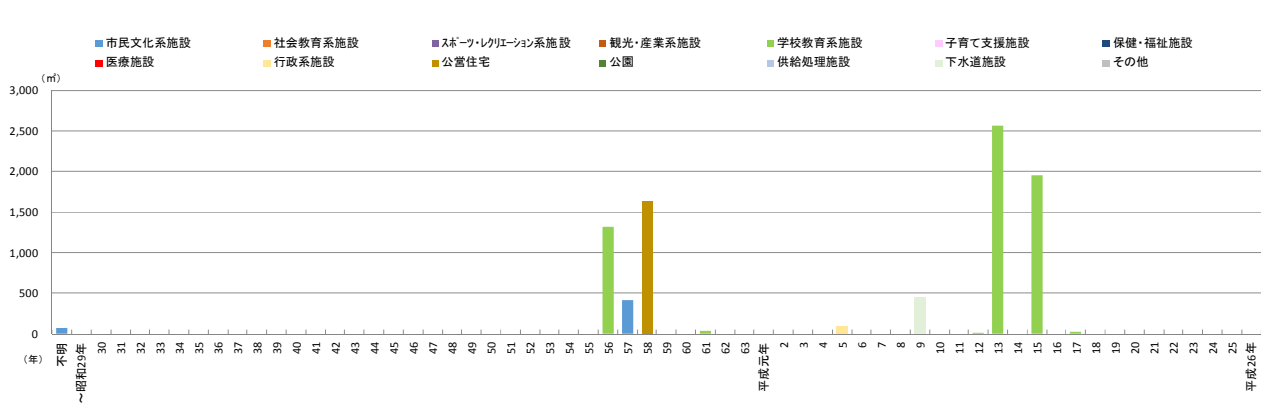
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	478.4	0.15	0.52	86.5%	43.1%
社会教育系施設	0	0.0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0.0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0.0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	5,899.0	1.90	2.17	22.3%	36.6%
子育て支援施設	0	0.0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0.0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	95.6	0.03	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	1	1,634.9	0.53	1.21	100.0%	34.5%
公園	0	0.0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0.0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	1	446.1	0.14	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0.0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	5	8,553.9	2.76	6.43	39.4%	31.1%

※ 背景がオレンジ色は全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (西有田地区)



過去整備量



西有田地区の現状

- 全市の人口の4.4%を占める。平成50年の人口は2,377人、高齢化率は47.3%と、全市平均の40.7%を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は8,553.9 m²で、全市の1.9%を占めている。大分類別には、学校教育系施設、公営住宅が多い。
- 1人あたり延床面積は2.76 m²と全市平均を大きく下回っており、対象地区で最も小さな値となっている。
- 築30年以上の施設が39.4%で、全市平均をわずかに上回っている。

(11) 東有田地区

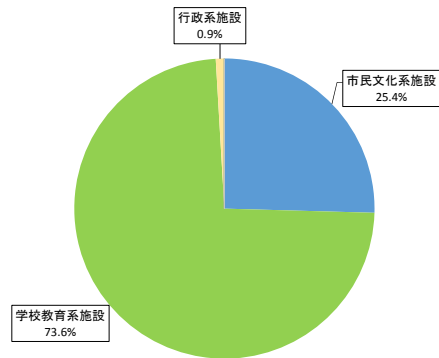
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 1,995 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 10.0% (13.0%) 生産年齢人口 : 55.2% (57.6%) 老年人口 : 34.7% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 10,602.0 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 5.31 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

保有施設の状況

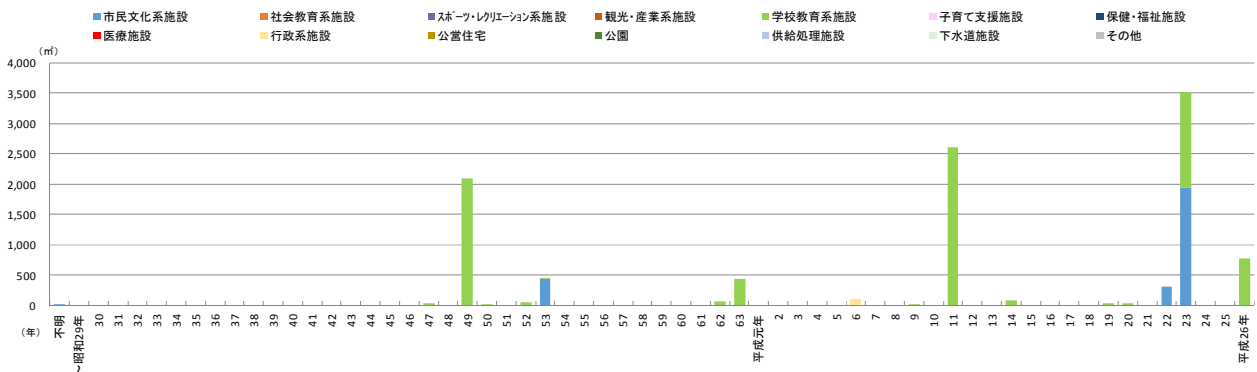
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	3	2,697.4	1.35	0.52	16.3%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	7,808.0	3.91	2.17	28.2%	36.6%
子育て支援施設	0	0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	96.7	0.05	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	6	10,602.0	5.31	6.43	24.9%	31.1%

※ は全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (東有田地区)



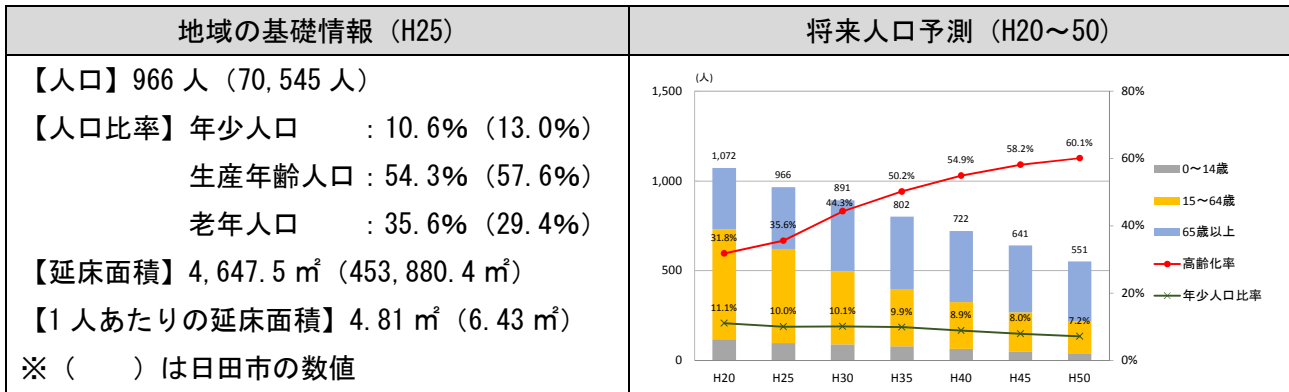
過去整備量



東有田地区の現状

- 全市の人口の 2.8% を占める。平成 50 年の人口は 1,142 人、高齢化率は全市平均の 40.7% を上回る 62.0% になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 10,602.0 m² で、全市の 2.3% を占めている。大分類別には、学校教育系施設、市民文化系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 5.31 m² と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 24.9% と全市平均を下回っている。

(12) 小野地区

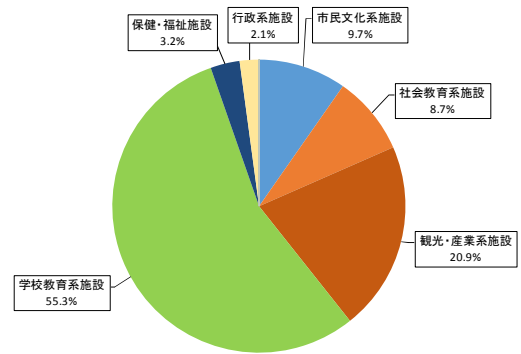


保有施設の状況

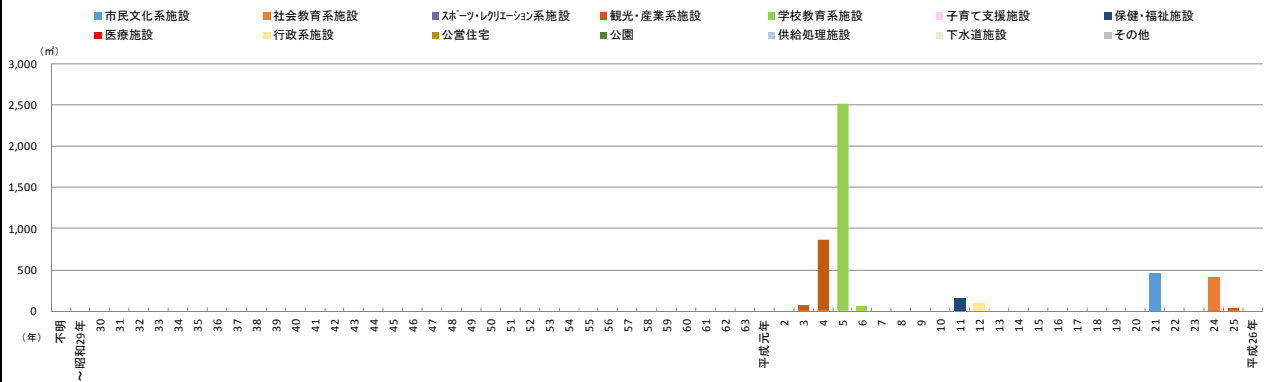
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	451.1	0.47	0.52	0.0%	43.1%
社会教育系施設	1	405.8	0.42	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	1	971.4	1.01	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	2,571.0	2.66	2.17	0.0%	36.6%
子育て支援施設	0	0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	1	149.4	0.15	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	98.8	0.10	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	6	4,647.5	4.81	6.43	0.0%	31.1%

※ 背景がオレンジ色のセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (小野地区)



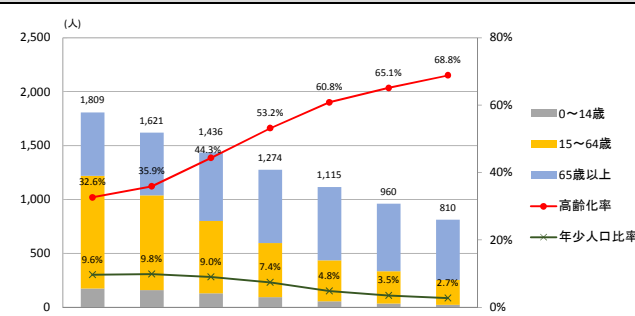
過去整備量



小野地区の現状

- 全市の人口の 1.4%を占める。平成 50 年の人口は 551 人、高齢化率は全市平均の 40.7%を上回る 60.1%になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 4,647.5 m²で、全市の 1.0%を占めている。大分類別には、学校教育系施設、観光・産業系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 4.81 m²と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設はない。

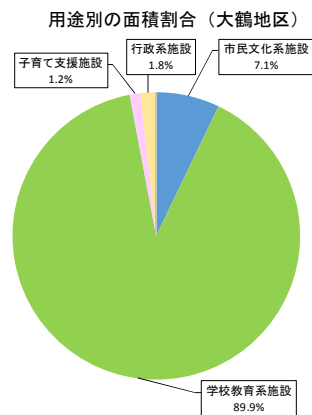
(13) 大鶴地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 1,621 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 9.8% (13.0%) 生産年齢人口 : 54.3% (57.6%) 老年人口 : 35.9% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 6,361.8 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 3.92 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

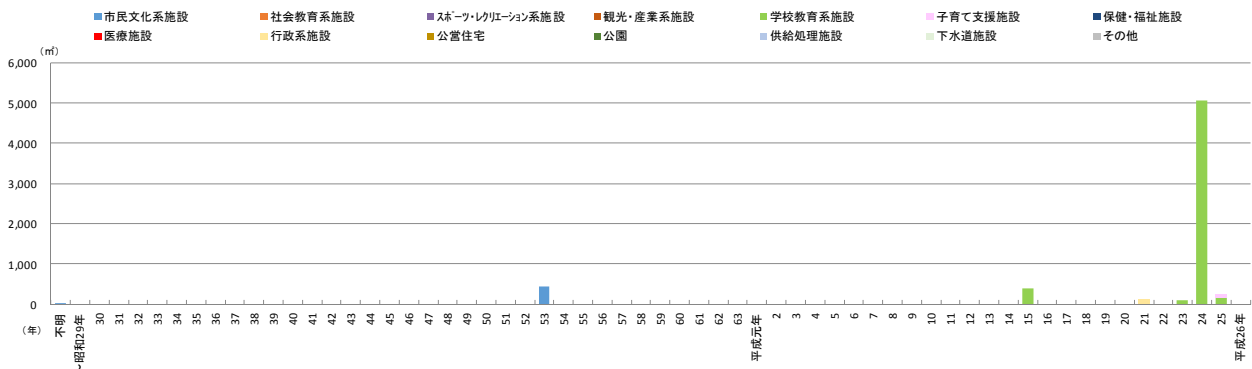
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	454.2	0.28	0.52	96.3%	43.1%
社会教育系施設	0	0.0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	0	0.0	0.00	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0.0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	5,719.0	3.53	2.17	0.0%	36.6%
子育て支援施設	1	75.8	0.05	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0.0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0.0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	112.7	0.07	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0.0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0.0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0.0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0.0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0.0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	4	6,361.8	3.92	6.43	6.9%	31.1%

※ は全市に比較して多い施設



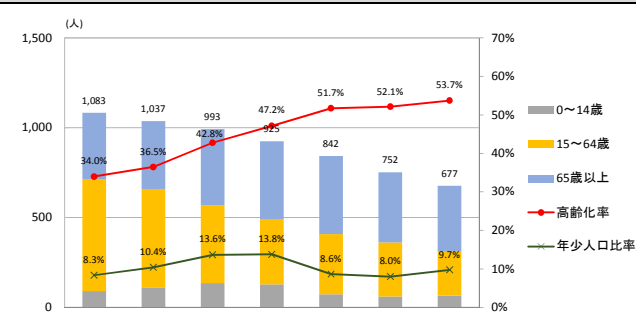
過去整備量



大鶴地区の現状

- 全市の人口の 2.3% を占める。平成 50 年の人口は 810 人、高齢化率は全市平均の 40.7% を上回る 68.8% になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 6,361.8 m² で、全市の 1.4% を占めている。大分類別には、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 3.92 m² と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 6.9% と全市平均を下回っている。

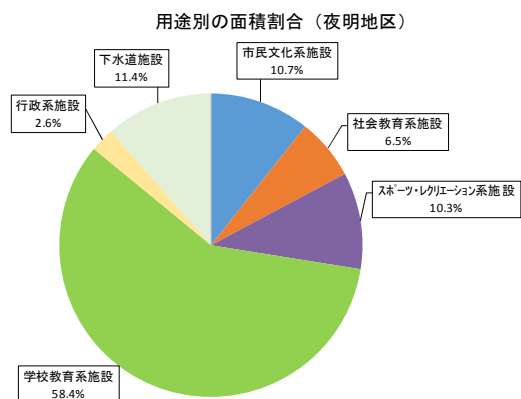
(14) 夜明地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 1,037 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 10.4% (13.0%) 生産年齢人口 : 53.1% (57.6%) 老年人口 : 36.5% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 3,741.9 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 3.61 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

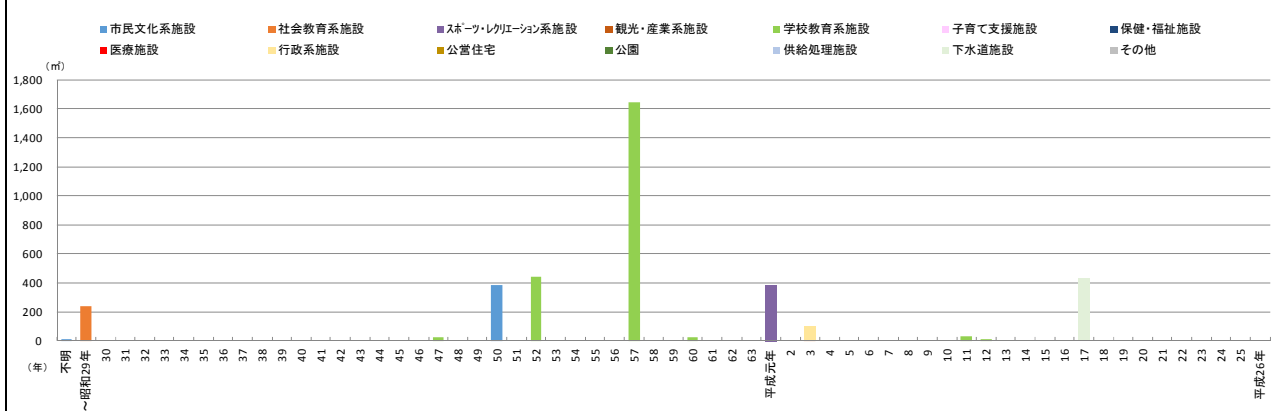
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上(%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	399.7	0.39	0.52	96.2%	43.1%
社会教育系施設	1	244.0	0.24	0.08	97.4%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	386.6	0.37	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	2,187.0	2.11	2.17	96.7%	36.6%
子育て支援施設	0	0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	96.5	0.09	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	1	428.1	0.41	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	6	3,741.9	3.61	6.43	73.2%	31.1%

※ 背景がオレンジ色のセルは全市と比較して多い施設



過去整備量



夜明地区の現状

- 全市の人口の 1.5% を占める。平成 50 年の人口は 677 人、高齢化率は 53.7% と、全市平均の 40.7% を上回ることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 3,741.9 m² で、全市の 0.8% を占めている。大分類別には、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 3.61 m² で全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 73.2% と全市平均を大きく上回り、対象地区の中で最も大きくなっている。

(15) 五和地区

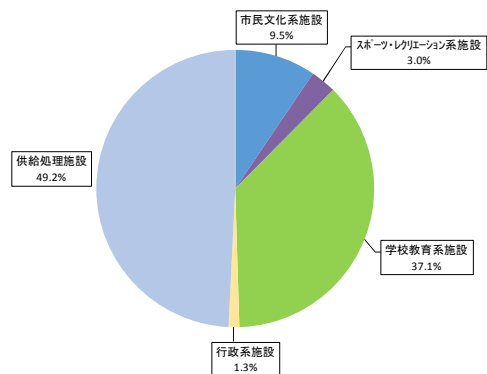
地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)																																																
<p>【人口】 2,734 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 10.7% (13.0%) 生産年齢人口 : 53.6% (57.6%) 老年人口 : 35.7% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 9,407.9 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 3.44 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	<p>将来人口予測 (H20~50) の詳細データ:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>0~14歳 (人)</th> <th>15~64歳 (人)</th> <th>65歳以上 (人)</th> <th>高齢化率 (%)</th> <th>年少人口比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>2,940</td> <td>12.4%</td> <td>30.1%</td> <td>12.4%</td> <td>30.1%</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2,734</td> <td>10.7%</td> <td>35.7%</td> <td>10.7%</td> <td>35.7%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2,652</td> <td>10.2%</td> <td>44.5%</td> <td>10.2%</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>H35</td> <td>2,458</td> <td>7.9%</td> <td>50.7%</td> <td>7.9%</td> <td>50.7%</td> </tr> <tr> <td>H40</td> <td>2,246</td> <td>6.4%</td> <td>55.7%</td> <td>6.4%</td> <td>55.7%</td> </tr> <tr> <td>H45</td> <td>2,037</td> <td>5.4%</td> <td>60.6%</td> <td>5.4%</td> <td>60.6%</td> </tr> <tr> <td>H50</td> <td>1,830</td> <td>4.9%</td> <td>63.4%</td> <td>4.9%</td> <td>63.4%</td> </tr> </tbody> </table>	年	0~14歳 (人)	15~64歳 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率 (%)	年少人口比率 (%)	H20	2,940	12.4%	30.1%	12.4%	30.1%	H25	2,734	10.7%	35.7%	10.7%	35.7%	H30	2,652	10.2%	44.5%	10.2%	44.5%	H35	2,458	7.9%	50.7%	7.9%	50.7%	H40	2,246	6.4%	55.7%	6.4%	55.7%	H45	2,037	5.4%	60.6%	5.4%	60.6%	H50	1,830	4.9%	63.4%	4.9%	63.4%
年	0~14歳 (人)	15~64歳 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率 (%)	年少人口比率 (%)																																												
H20	2,940	12.4%	30.1%	12.4%	30.1%																																												
H25	2,734	10.7%	35.7%	10.7%	35.7%																																												
H30	2,652	10.2%	44.5%	10.2%	44.5%																																												
H35	2,458	7.9%	50.7%	7.9%	50.7%																																												
H40	2,246	6.4%	55.7%	6.4%	55.7%																																												
H45	2,037	5.4%	60.6%	5.4%	60.6%																																												
H50	1,830	4.9%	63.4%	4.9%	63.4%																																												

保有施設の状況

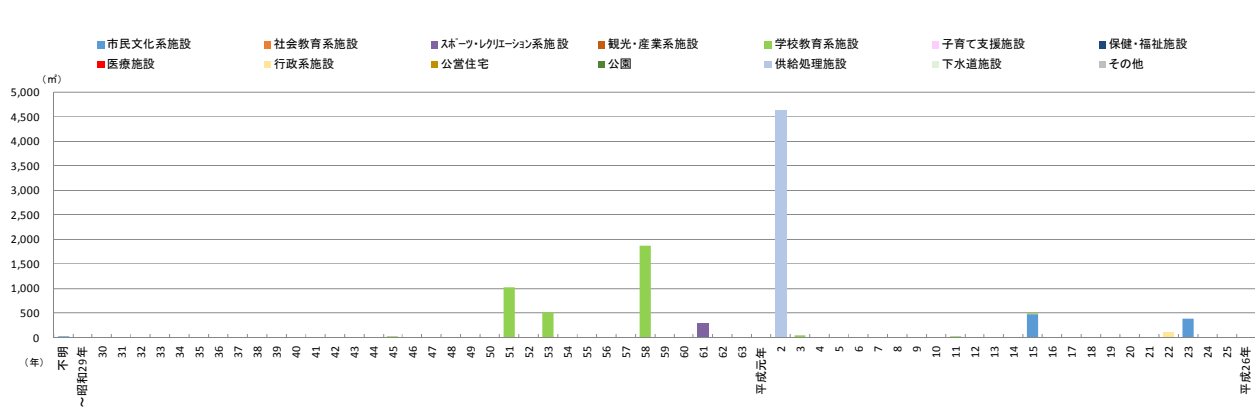
大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	2	889.1	0.33	0.52	0.0%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	281.2	0.10	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	0	0	0.00	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	1	3,489.0	1.28	2.17	98.2%	36.6%
子育て支援施設	0	0	0.00	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	0	0	0.00	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	119.2	0.04	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	0	0	0.00	1.21	0.0%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	1	4,629.4	1.69	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	0	0	0.00	0.15	0.0%	64.4%
総計	6	9,407.9	3.44	6.43	36.4%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設

用途別の面積割合 (五和地区)



過去整備量



五和地区の現状

- 全市の人口の 3.9% を占める。平成 50 年の人口は 1,830 人、高齢化率は全市平均の 40.7% を上回る 63.4% になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 9,407.9 m² で、全市の 2.1% を占めている。大分類別には、供給処理施設、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 3.44 m² と全市平均を下回っている。
- 築 30 年以上の施設が 36.4% と全市平均とほぼ同じとなっている。

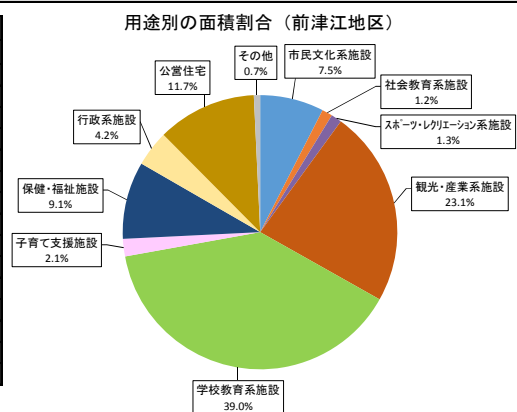
(16) 前津江地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 1,156 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 8.5% (13.0%) 生産年齢人口 : 57.7% (57.6%) 老年人口 : 33.8% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 28,438.5 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 24.60 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

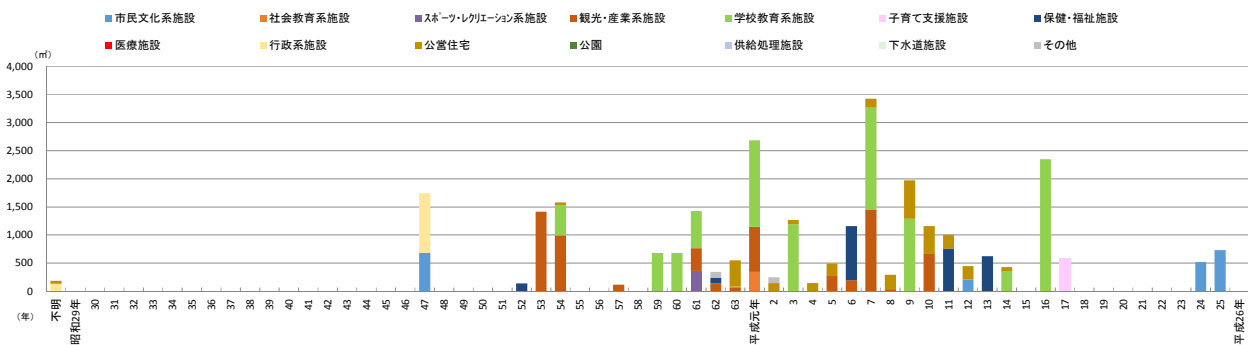
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人あたり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	4	2,144.0	1.85	0.52	31.9%	43.1%
社会教育系施設	1	350.3	0.30	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	360.4	0.31	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	4	6,571.5	5.68	0.50	38.5%	13.1%
学校教育系施設	6	11,101.5	9.60	2.17	11.0%	36.6%
子育て支援施設	1	586.7	0.51	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	4	2,591.7	2.24	0.24	5.5%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	1	1,200.5	1.04	0.43	88.6%	24.2%
公営住宅	10	3,329.9	2.88	1.21	1.4%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	2	202.0	0.17	0.15	0.0%	64.4%
総計	34	28,438.5	24.60	6.43	20.0%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設



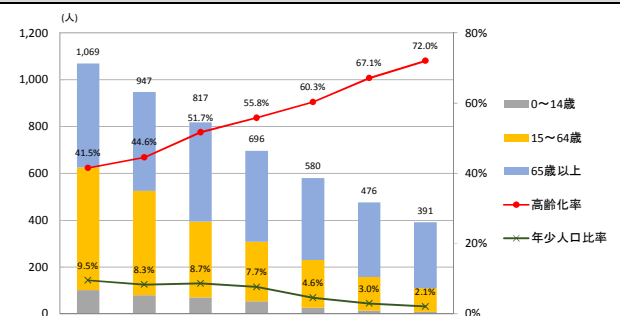
過去整備量



前津江地区の現状

- 全市の人口の1.6%を占める。平成50年の人口は455人、高齢化率は全市平均の40.7%を上回る68.0%になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は28,438.5 m²で、全市の6.3%を占めている。大分類別には、学校教育系施設、観光・産業系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は24.60 m²で全市平均を大きく上回っている。
- 築30年以上の施設が20.0%と全市平均を下回っている。

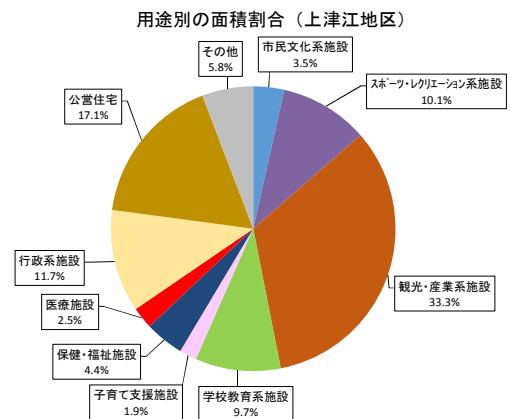
(18) 上津江地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
<p>【人口】 947 人 (70,545 人)</p> <p>【人口比率】 年少人口 : 8.3% (13.0%)</p> <p style="padding-left: 20px;">生産年齢人口 : 47.1% (57.6%)</p> <p style="padding-left: 20px;">老年人口 : 44.6% (29.4%)</p> <p>【延床面積】 28,080.2 m² (453,880.4 m²)</p> <p>【1人あたりの延床面積】 29.65 m² (6.43 m²)</p> <p>※ () は日田市の数値</p>	

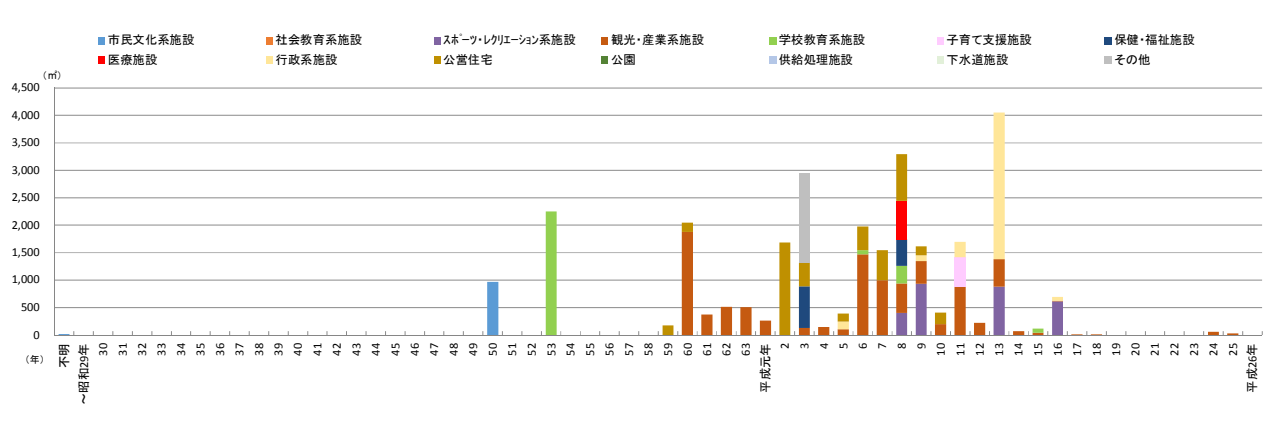
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	1	982.2	1.04	0.52	98.4%	43.1%
社会教育系施設	0	0	0.00	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	4	2,835.4	2.99	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	5	9,352.3	9.88	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	2	2,724.2	2.88	2.17	82.5%	36.6%
子育て支援施設	1	543.6	0.57	0.09	0.0%	45.3%
保健・福祉施設	2	1,244.6	1.31	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	1	697.1	0.74	0.02	0.0%	37.2%
行政系施設	6	3,276.5	3.46	0.43	0.0%	24.2%
公営住宅	12	4,794.5	5.06	1.21	3.6%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	2	1,629.8	1.72	0.15	0.0%	64.4%
総計	36	28,080.2	29.65	6.43	12.1%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設



過去整備量



上津江地区の現状

- 全市の人口の 1.3% を占める。平成 50 年の人口は 391 人、高齢化率は全市平均の 40.7% を上回る 72.0% になることが予測されており、対象地区で中津江地区に次いで 2 番目に高い高齢化率となっている。
- 公共施設延床面積は 28,080.2 m² で、全市の 6.2% を占めている。大分類別には、観光・産業系施設、公営住宅が多い。
- 1 人あたり延床面積は 29.65 m² で全市平均を大きく上回り、対象地区で中津江地区に次いで 2 番目に大きな値となっている。
- 築 30 年以上の施設が 12.1% と全市平均を下回っている。

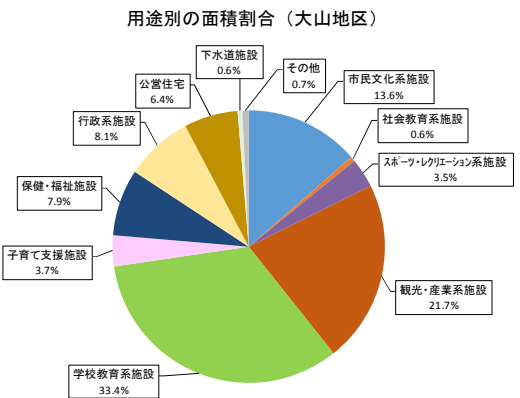
(19) 大山地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
【人口】 3,074 人 (70,545 人) 【人口比率】 年少人口 : 10.0% (13.0%) 生産年齢人口 : 56.4% (57.6%) 老年人口 : 33.6% (29.4%) 【延床面積】 34,725.3 m ² (453,880.4 m ²) 【1人あたりの延床面積】 11.30 m ² (6.43 m ²) ※ () は日田市の数値	

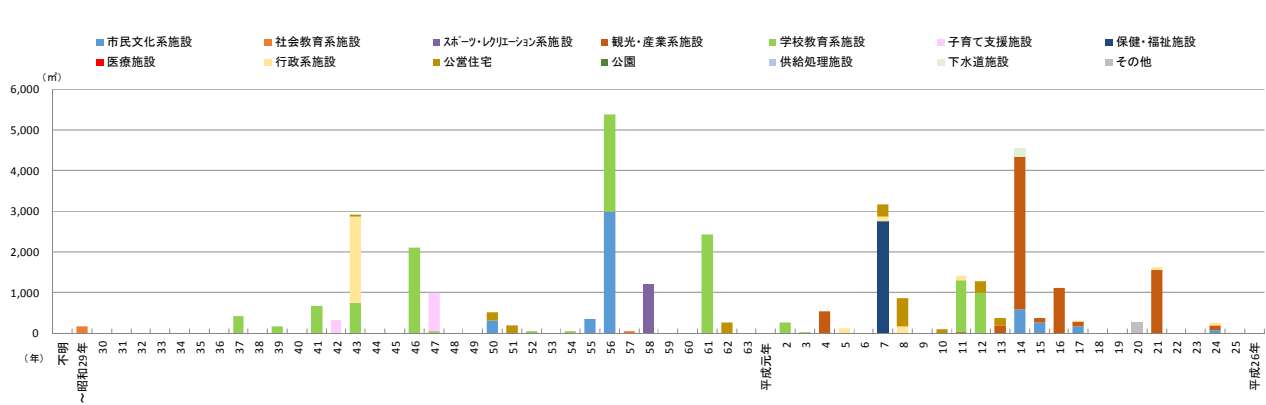
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	7	4,715.5	1.53	0.52	77.1%	43.1%
社会教育系施設	1	198.8	0.06	0.08	100.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	1	1,212.3	0.39	0.43	100.0%	23.1%
観光・産業系施設	3	7,522.1	2.45	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	5	11,584.0	3.77	2.17	57.2%	36.6%
子育て支援施設	4	1,279.1	0.42	0.09	100.0%	45.3%
保健・福祉施設	2	2,745.0	0.89	0.24	0.0%	26.6%
医療施設	0	0	0.00	0.02	0.0%	0.0%
行政系施設	11	2,795.9	0.91	0.43	76.3%	24.2%
公営住宅	4	2,220.3	0.72	1.21	19.4%	34.5%
公園	0	0	0.00	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	1	199.9	0.07	0.16	0.0%	58.1%
その他	1	252.4	0.08	0.15	0.0%	64.4%
総計	40	34,725.3	11.30	6.43	44.7%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設



過去整備量



大山地区の現状

- 全市の人口の 4.4% を占める。平成 50 年の人口は 1,409 人、高齢化率は全市平均の 40.7% を上回る 65.2% になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は 34,725.3 m² で、全市の 7.7% を占めている。大分類別には、学校教育系施設、観光・産業系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は 11.30 m² と全市平均を上回っている。
- 築 30 年以上の施設が 44.7% と全市平均を上回っている。

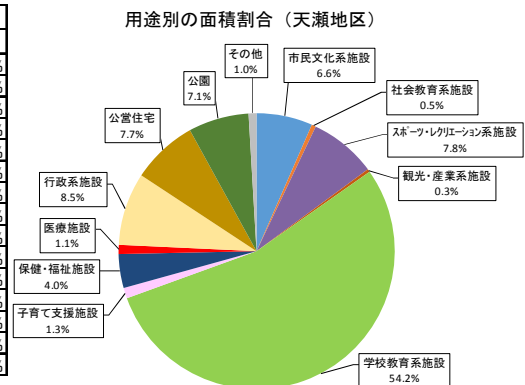
(20) 天瀬地区

地域の基礎情報 (H25)	将来人口予測 (H20~50)
【人口】 5,455 人 (70,545 人) 【人口比率】 年少人口 : 8.6% (13.0%) 生産年齢人口 : 52.6% (57.6%) 老年人口 : 38.8% (29.4%) 【延床面積】 38,511.6 m ² (453,880.4 m ²) 【1人あたりの延床面積】 7.06 m ² (6.43 m ²) ※ () は日田市の数値	

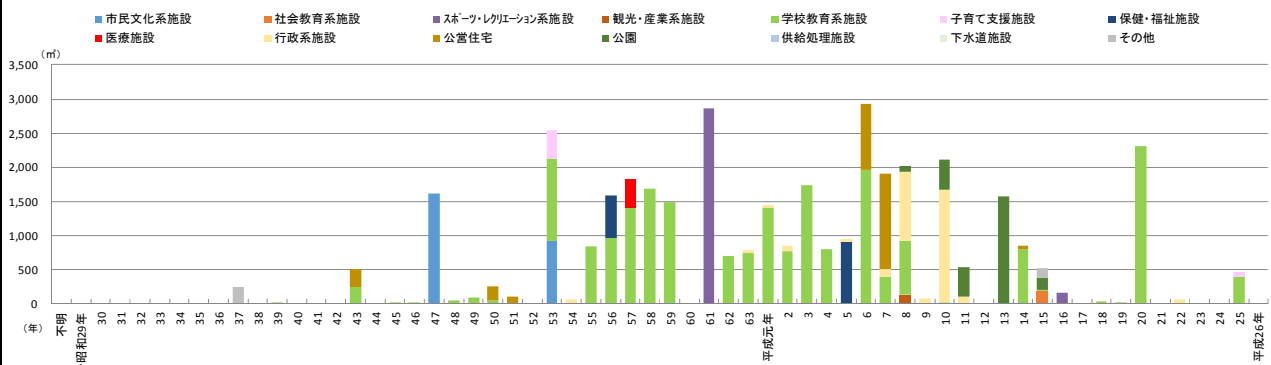
保有施設の状況

大分類	施設数	延床面積 (m ²)	1人当たり面積(m ²)		築30年以上 (%)	
			地区	全市	地区	全市
市民文化系施設	3	2,529.9	0.46	0.52	100.0%	43.1%
社会教育系施設	1	183.9	0.03	0.08	0.0%	27.2%
スポーツ・レクリエーション系施設	2	3,021.4	0.55	0.43	0.0%	23.1%
観光・産業系施設	1	129.0	0.02	0.50	0.0%	13.1%
学校教育系施設	10	20,885.7	3.83	2.17	38.4%	36.6%
子育て支援施設	2	483.9	0.09	0.09	86.8%	45.3%
保健・福祉施設	2	1,525.1	0.28	0.24	41.1%	26.6%
医療施設	1	412.6	0.08	0.02	100.0%	37.2%
行政系施設	12	3,279.2	0.60	0.43	1.7%	24.2%
公営住宅	5	2,975.7	0.55	1.21	18.7%	34.5%
公園	1	2,718.3	0.50	0.05	0.0%	16.4%
供給処理施設	0	0	0.00	0.14	0.0%	0.0%
下水道施設	0	0	0.00	0.16	0.0%	58.1%
その他	2	367.0	0.07	0.15	64.0%	64.4%
総計	42	38,511.6	7.06	6.43	33.4%	31.1%

※ 色付きセルは全市と比較して多い施設



過去整備量



天瀬地区の現状

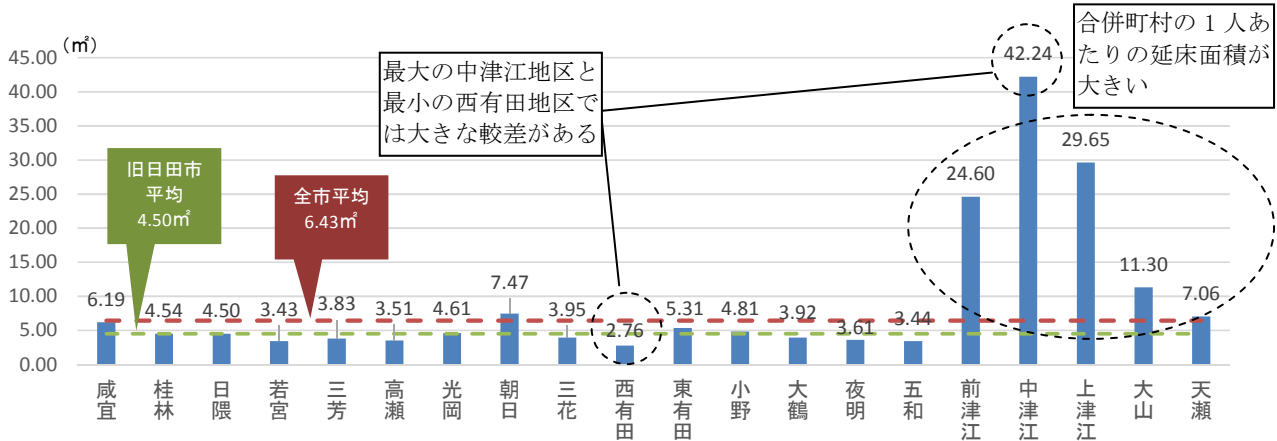
- 全市の人口の7.7%を占める。平成50年の人口は2,792人、高齢化率は全市平均の40.7%を上回る65.8%になることが予測されている。
- 公共施設延床面積は38,511.6 m²で、全市の8.5%を占めている。大分類別には、学校教育系施設が多い。
- 1人あたり延床面積は7.06 m²と全市平均を若干上回っている。
- 築30年以上の施設が33.4%と全市平均とほぼ同じ割合となっている。

2. 地区間の分析・評価

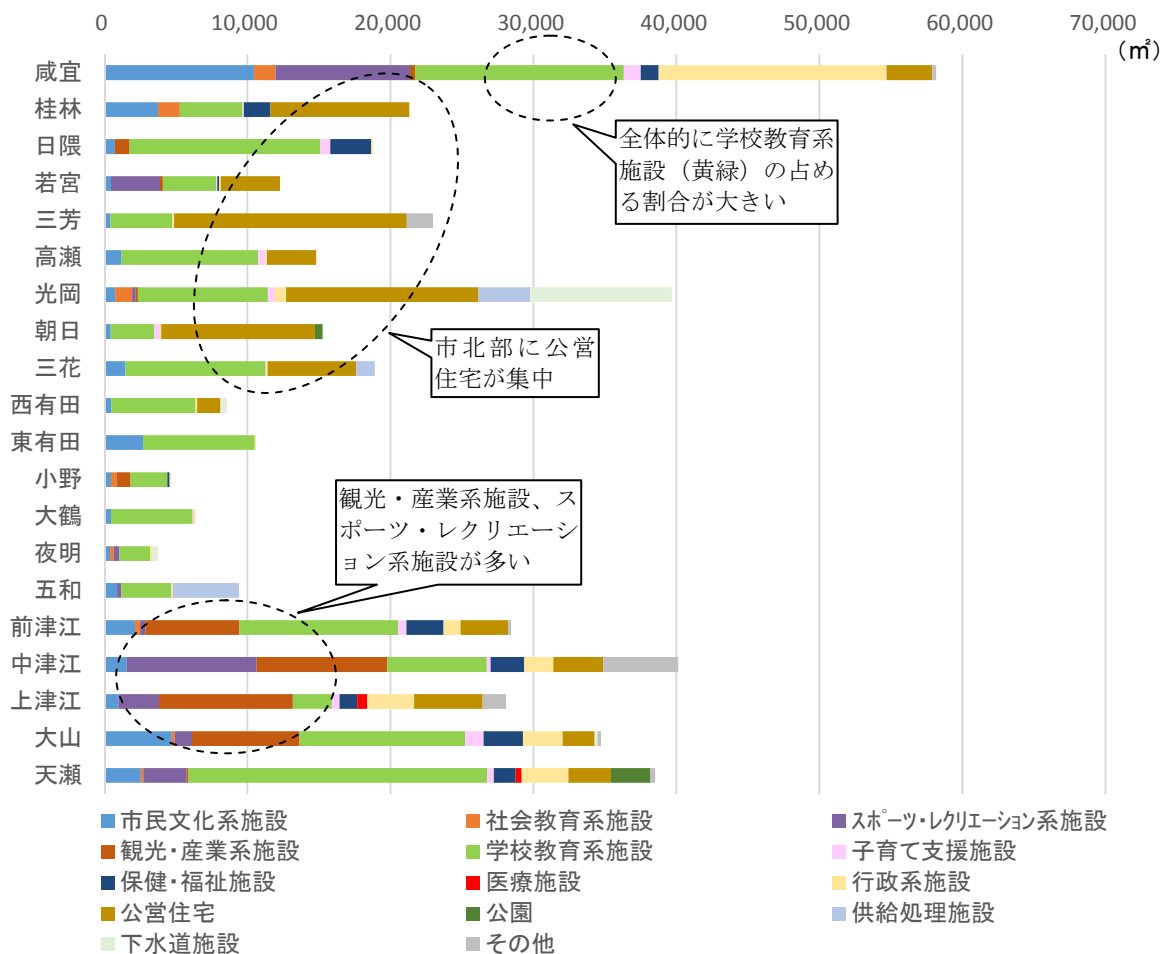
地区間の1人あたり延床面積を比較すると最小の西有田地区が2.76㎡、最大の中津江地区が42.24㎡となっており、大きな較差が見られます。また旧日田市平均は4.50㎡であるのに対して、合併町村の1人あたり延床面積が大きくなっています。

また、地区別の大分類別延床面積を見ると、前津江地区、中津江地区、上津江地区では観光・産業系施設、スポーツ・レクリエーション系施設が多くなっています。また市北部では公営住宅が集中しています。全体的に学校教育系施設の占める割合が高くなっています。

■地区別の1人あたりの延床面積比較



■地区別の大分類別の延床面積比較



第5章 公共施設等の再配置に向けた取り組みの視点

1. 取り組みの視点の整理

これまでに整理した内容をもとに、今後は以下5つの視点に立ち、公共施設等の再配置の取り組み内容について検討していきます。

視点1

公共施設等の総量の圧縮を図る

日田市は、旧市町村が整備してきた公共施設を受け継いだことから類似施設が重複し、全国的に見ても公共施設量は過大な状況にあります。また、広大な市域面積を支えるインフラ施設も他都市と比較して多くの量を有しており、現在の公共施設等を全て維持していくことは極めて困難な状況にあります。

そのため、人口や財政の動向を見据え、将来にわたって維持できるように、公共施設等の総量の圧縮を図ることが必要です。

【検討の視点】

- 削減の数値目標の設定
 - ・目標年次や達成すべき公共施設等の削減量（数値目標）を設定し、財政的に将来に渡って維持管理、更新が可能な公共施設等の総量とすることを目指します。
- 設置効果の低い施設の統廃合
 - ・稼働率が低く、機能の重複や利用者の増加が見込めない等の設置効果の低い施設については、優先順位を明らかにした上で統廃合を検討していきます。
- 公共施設の多機能化
 - ・各地域の公共施設や公共施設の機能を集約する複合化、多機能化を検討していきます。

視点2

公共施設の長寿命化と計画的な施設整備を図る

公共施設の老朽化に伴い、施設の修繕や更新費用の増加が見込まれます。一方で、公共施設の整備にかけられる費用は減少する見込みであり、適切な維持管理・更新ができない場合は、公共施設の機能や安全性の低下が懸念され、結果として公共施設が利用できなくなることも想定されます。そのため、社会動向やニーズの変化に合わせ、必要となる公共施設に関しては、長期的視点に立った計画的な修繕や長寿命化を検討するとともに耐震性の確保やバリアフリーの対応等を実施し、誰もが安心して使える施設整備を図ることが必要です。

【検討の視点】

- 計画的な予防保全による更新費用の圧縮と平準化
 - ・今後も市で保有する公共施設については、定期点検の実施や中長期保全計画の策定、改修履歴のデータベース化により、これまでの「事後保全」の修繕から「予防保全」の修繕へ転換し、計画的な公共施設マネジメントを検討します。
 - ・公共施設の改修にあたっては、長寿命化を図りライフサイクルコストの縮減を検討します。
- 施設利用者の安心・安全の確保
 - ・耐震改修やバリアフリー対応改修、災害時の避難拠点としての整備など、誰もが安心して使える施設整備を検討します。
- 将来の需要予測と将来ニーズへの対応
 - ・今後不要となる施設、機能については、積極的に用途転換や跡地活用を検討していきます。

視点3

効率的・効果的な施設運営を図る

公共施設の建物にかかる更新費用とは別に、施設の管理運営には、光熱水費や人件費など、年間 37.5 億円もの費用がかかっています。そのため、利用料金等の見直しによる収入の増加や市民サービスの維持や向上を踏まえた上で、民間ノウハウの活用による管理運営費の縮減等により、効率的・効果的な施設運営を検討していくことが必要です。

【検討の視点】

●受益者負担を適正化

- ・受益者負担の原則という視点から、公共施設の利用実態とコスト負担の状況を検証し、料金設定や減免制度の見直し、使用料金のバランス等、負担の適正化を検討します。
- ・利用者数の減少している施設は、その原因を明らかにするとともに、利用者数の増加を図り、効率的な施設運営を検討します。
- ・公共施設の廃止、統廃合により発生する空スペースや敷地の民間への賃貸による利用料金収入の確保、売却などにより公共施設を資産として活用することを検討します。

●民間活力の導入

- ・民間事業者のノウハウを活用した施設運営の効率化やサービスの質の向上を検討します。

視点4

将来を見据えた公共施設の再配置を図る

日田市は、集中豪雨による浸水被害も多く、公共施設等は災害時の避難場所や避難経路等の役割を果たしています。また、観光都市としての側面を有しており、公共施設等は観光振興において重要な役割を担っています。そのため、公共施設等の再配置にあたっては、単に施設の機能や量だけではなく、まちづくりの視点に立ち、利用者の利便性や地域特性等を考慮しながら、将来を見据えた施設評価を検討する必要があります。

【検討の視点】

●用途別・利用圏域に応じた再配置の推進

- ・公共施設の用途別に利用圏域を設定し、利用圏域に応じた再配置方針を検討します。

(検討のイメージ例)

利用圏域	内容	マネジメントの方向性
全市	・主として市民全体の利用を想定した施設	・市町村合併以前に整備された施設の統廃合 ・県や近隣市町村との施設の共有 等
地区	・主として市内の特定の地域住民を対象とした施設 ・地域的なバランスを考慮して公共施設の配置や在り方を検討すべき施設	・施設用途ごとの統廃合 ・施設の複合化、多機能化 ・隣接地区との施設の共用 ・利用団体等への移管・譲渡 等
自治会	・主として自治会の住民の利用を想定した施設 ・市民サービスの公平性を考慮して公共施設配置を検討すべき施設	・施設の複合化、多機能化 ・自治会等への移管・移譲 等
その他	・特定の利用圏域に属さない施設 ・施設の目的や利用状況を考慮して公共施設配置を検討すべき施設	・施設用途ごとの統廃合 等

- ・一極集中型ではなく、地域の特性に応じて、複数の中核に公共施設を配置する多極型コンパクトシティの形成など都市計画等と連動した再配置を検討します。
 - ・統廃合により公共施設の利便性の低下が懸念される場合は、公共交通網の見直しなどの代替案も含めて検討します。
- ##### ●施設評価に基づく再配置の検討
- ・施設評価を踏まえ、現地調査等を実施し、まちづくりの視点に立ち、利用状況や地域特性等に配慮した公共施設の再配置を検討します。

公共施設等の再配置を進めるには、庁内で情報共有を行い、統一的な考えのもとに推進することが重要です。また、利用者である市民に再配置の必要性を説明し理解を得ながら進めていかなくてはなりません。

公共施設等の再配置は数十年単位の息の長い取り組みとなることから、確実に進めるための仕組みを構築しておく必要があります。また、公共施設は、利用されてはじめてその役割を果たすことから、日田市の公共施設の現状や問題点を市民と共有しながら、公共施設のあり方を考えていくことが重要です。

そのため、行政内部の推進体制の構築はもとより、市民や有識者等を加えた再配置の推進体制を構築する必要があります。

【検討の視点】

- 市民との問題意識の共有・協働の推進
 - ・日田市公共施設等総合管理計画（施設データ編）「日田市公共施設白書」の周知につとめ、市民と公共施設の現状や問題点等について情報の共有化を図ります。
 - ・パブリックコメントの実施や市民や有識者を加えた検討委員会の実施等、広く意見を取り入れながら長期的・財政的な視点のもとに再配置計画の検討を進めます。
- 庁内プロジェクトチームの設置
 - ・再配置の推進を担う専任部署の設置や庁内の合意形成を図るプロジェクトチームの構築など、全庁が一丸となった推進体制を検討します。